

特202  
239



0013102-000

特202-239

行政法総論

法律研究会

昭和4

ACD



272

特202

239

行政法總論



特202  
239



(以下五頁八五頁ニ続ク)

# 本論

## 第一編 行政組織法

既ニ述ベタル如ク行政主体ニ國家ソノ他ノ公共団体アリ 依リテ行政主体ニ  
モ國家ノ行政組織ト國家以外ノ公共団体ノ行政組織トアリ 先ズ前者リ説明セ  
ントス

### 第一章 國家行政組織

#### 第一節 行政組織總説

##### 第一、行政機關ノ概念

凡ソ國家ノ機關トハコレヲ内部的ニ見レバ法上ノモノノ活動ガ國家ニ屬スルモノ  
ト定メラレタル個人ニシテコレヲ外部的ニ見レバ法上國家ノ活動カソノモノ  
ト活動ニヨリテ認識セラレルト定メラレタル個人ナリ 乃チ機關ハ國家ノ活動  
ヲ供給シ又コレヲ表現スルモノトス 而シテコレノ場合法律關係ノ主体タルモノ  
ハ國家ソノモノニシテソノ機關タル個人ニ非ズ 機關タル個人ハソレガ國家ナ  
ル人(人格者)ノ活動ヲ供給シ又之ヲ表現スルノ關係ニ於テハ豪モ法律關係ノ  
主体タルモノニハ非ズ ソノ活動ハソノ個人ノ活動ニハ非ズシテ國家ノ活動タ





ルナリ 所謂機關ハ人格ヲ有セズト云フハコノコトヲ云フニ外ナラズ

國家ノ行政ヲ行フタメニ定メラレタル機關ハ即チ行政機關ニシテ帝國職及ビ司法裁判所ヲ除ク外一切ノ國家機關ヲ包摂ス コノ意義ニ於ケル行政機關ハ天皇及ビ天皇ヲ輔弼スル國家機關ヲ包括スルトモ、而モ斯ノ如キハ通常ノ用例ニハ非ズ 蓋シ天皇及ビ天皇ヲ輔弼スルノ機關ハソノ任務原則トシテ國家全般ノ作用ニ迄ルモノニシテ特ニ行政ノタメノ機關ニ非ズ 故ニ之ニ因スル法ノ如キモ原則トシテ憲法ニ屬シテ行政法ニ屬スルコトナシ 以テ通常通常行政機關ト云フ時ハコレヲ狹義ニ解シテ上述意義ノ行政機關中天皇及ビ天皇ヲ輔弼スルノ機關ヲ除外シタルモノノミトス以下吾人ノ用フル行政機關ナル語モ之ニ從フモノトス

### オニ 行政機關ノ機關体

凡ソ行政機關ヲ構成スル個人ノ法上ノ位置ニミアリ 先ヅ行政機關ヲ構成スルモノトシテ考ヘラレズ一般私人ト全然同様ノ地位ニアルモノハソノ一ナリ 知事タル某が煙草ヲ買ヒ租税ヲ納ムルガ如シ 次ニ行政機關ヲ構成スルモノトシテ考ヘラレ而カモ國家ノ活動ヲ供給スル關係ニ非ザルモノハソノ一ナリ

知事ナル某が糧給ヲ受ケ徳或ニ服スルガ如シ 最後ニ行政機關ヲ構成スルモノトシテ考ヘラレ且ツ國家ノ活動ヲ供給スルノ關係ニアルモノハソノ一ナリ 知事タル某が府縣令ヲ発シ許可処分ヲナスガ如シ 但人ハオノ地位ニ於テハ行政機關タルコトト無關係ニ換言スレバ一般私人タル資格ニ於テ法律關係ノ主体タリ 又オノ地位ニ於テハ行政機關ソノモノナルガ故ニ換言スレバソノ人格カ全然國家ニ吸收セラレルガ故ニ法律關係ノ主体タルコトナシ而シテコノ兩者ノ中間ニ位スルオノ地位ニアル個人ヲ行政機關ノ機關体トイフ 行政機關ノ機關体ハ人格ヲ有ス即チ法律關係ノ主体タルコトヲ得コノ點ニ於テオノ地位ニアル個人ノ全然人格ヲ有セザルト異ル 而モソノ人格ヲ有スルハオノ地位ニアル個人ノ如ク一般私人トシテ之ヲ有スルニ非ズ 尚機關ヲ構成スルモノニシテコレヲ有スルナリ 故ニ機關体が主体タル法律關係ハ一般私人が主体タル法律關係ニ對シテ特異ノ地位ヲ占ムルモノトス 機關体ノ概念ハ特ニ機關ソノモノノ概念ト明ニコレヲ區別スルヲ要ス

行政機關ノ機關体ハ官史タル身分ヲ有スルコトヲ通常トスルモ必ずシモ之ヲ要件トスルニハ必ず理論上ハ官史ニ非ルモノモ又ヨク行政機關タルコトヲ構成



スルヲ得バク只實際上之ヲ認メルヤ否マハ其ノ國ノ立法政策如何ニアリトス  
我國モ又例外トシテ之ヲ認ム 所得調査委員 教員 検定試験委員等ハソノ例  
ナリ

### 第三 行政組織

行政組織トハ行政機關ノ組織ナリ 而シテ行政機關ノ組織トハ行政機關ノ配  
置、権限、構成等ヲ定メ依ツテ以テ國家ガ行政作用ヲ行フ一連ノ結構ナリ  
行政組織ヲ定メルノ權ハコレヲ行政組織權ト云ヒ 我國法上天皇ノ採ル所ニシ  
テカノ官制大權(憲法十條)ト云フモノ即チ之ナリ 故ニ官制ハ原則トシテ命  
令(勅令)ヲ以テ之ヲ定ムベキモノトス 而モ例外トシテ法律ヲ以テ之ヲ定ム  
コトアリ(憲法但書) コノ例外ノ場合ニ憲法上ノ必要ニヨリ法律ヲ以テ定ムル  
場合(憲法 一、七)ト然ラザル場合トアリ ソノ何レノ場合タルトテ同  
ハズ官制ガ法律ヲ以テ定ムラレタル以上ソノ範圍ニ於テ天皇ノ官制大權ガ制限  
ヲ受クルモノタルハ法律ハ命令ニ勝ル効カヲ有スト云フ一般原則ニ照シテ明カ  
ナリ

次ニ天皇ガ官制ヲ制定又ハ改正シテ行政機關ノ組織ヲ定メル時コノ組織法ヲ

執行スルニハ一定ノ經費ヲ要ス 而シテコノ經費ノ國家ノ歳出タルベキハモト  
ヨリナリ 然ルニ一般ニ國家ノ歳出ハ毎季ヲ算リ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ベキ  
モノナル故ニ(一、一) 右ノ經費モホテ算ヲ以テ議會ノ協賛ヲ經ザルベカ  
ラズ然ルニコノ議會ノ予定ノ行動ハ何者ニモ拘束セラレルコトナク議會ハ全然  
自由ノ見地ニ於テコレヲ行ヒ得ルモノナルヲ以テ右ノ經費ニ付イテモ或ハ之ヲ  
承認シ或ハコレヲ承認セザルヲ得ベシ

議會ハソノ行政機關ノ組織ヲ實現スルニ必要ナル經費ニツキ承認ヲ与ヘザル  
時ハソノ限度ニ於テ官制大權ヲ以テ定メタル法ノ執行ガ實際上不可能トナリ  
從ツテ官制大權ソノモノノ行律ガ制限セラレルト同一ノ結果ヲ生ズ 而モ法理  
上ヨリスレバ官制大權ソノモノノ行律ハ議會ノ予算議決ニヨリテ或モ制限ヲ受  
ケルコトナキハ注意スベシ



# 行政法 緒論

## 第一章 行政 *Verwaltung.*

國家ノ权力即チ統治权ヲ分チテ立法权司法权行政权ノ三トナス事ハカノ三权分立思想ノ影響ノ下ニ一般ニ認めラル所ナリ而シテ國家ノ权力ノ発動スル所ニシテ國家ノ作用アリ。故ニ立法权ハ発動シテ行政权トナル。通常用ヒザル所ノ立法司法行政ノ諸ハンノ各々ノ权力ヲ指スヨリモ寧ロソノ各々ノ作用ヲ指スモノ凡ソ立法司法行政ノ三作用ノ種別ハ理論的ノモノニ非ズシテ制度上ノモノニ屬ス。従ツテ特定ノ國ノ立法司法及ビ行政ノ概念ヲ定メントスレバヨロシク先ヅソノ國ノ制度ニ付テソノ立法司法及ビ行政ナリトスル所ノモノヲ示サザルベカラズ。而ラバ其カ國ニ於ケル制度上ノ概念如何。コレヲ明カニスルタメニハ先ヅ我國ニ於ケル制度上ノ立法及ビ司法ノ概念ヲ明ニスル事ヲ要ス。若シ行政ノ概念ハコレヲ積極的ニ立ツル事甚ダ困難ナレバ消極的ニ定メルヲ以テ寧ロソノ方法ヲ得タリトナス。即チ行政トハ立法及ビ司法ニ非ザル凡テノ國家ノ作用ヲ總稱スルモノトス。而ルニコノ立法及ビ司法ニ非ザル凡テノ國家ノ作用ヲ總稱スルモノトス。



稱ルニコノ立法及び司法ノ概念ノモノニス、各々實質的及び形式的ノニ概念ガアルガ故ニ行政ノ概念ニモ亦實質的形式的ノニ概念アリ

### 第一、實質的概念タル行政

(一) 實質的概念タル立法ハ法ノ制度作用ナリ。(憲五)

コ、ニ所謂法トハ技術的概念タル法即チ一般國民ノ行爲ヲ定メルモノヲ言ヒ單ニ國家自身ノ内部干係ヲ定メルモノヲ指スニハ非ズ、苟モ國家ノナス法ノ制定作用ハ凡テ立法ニ屬スルモノニシテ独リ、帝國ノ議會ノ協贊ニヨツテナサル、制定作用ノミガ立法タルニ非ザルナリ。

(二) 實質的概念タル司法ハ民事刑事タル具體的事實ニツイテナス法ノ宣言作用即チ民事刑事裁判ナリ(憲五七)コ、ニ所謂法トハ前述立法ノ結果タル法ヲ言フ、広ク國家ノナス法ノ宣言作用ガ凡テ司法タルニハ非ズ此司法裁判所ニヨツテナサル、法ノ宣言ノミガ司法ニ屬スルモノナリ。

(三) 實質的概念タル行政(憲一〇)ハ以上ノ意義ニ於ケル立法及び司法ノ兩作用ヲ除外シタル残余ノ一切ノ國家作用ナリ、即チ一般ニ法制定作用ニモ非ズ、民事刑事ノ裁判ニモ非ザル凡テノ國家ノ作用ナリ。

### 第二、形式的概念タル行政

右ノ實驗的ト言フハ作用自身トシテ見ルノ意ナリ、ソノコレヲ行フ機關ト干聯セシメテ見ルニハ非ズ、後者ノ見地ニ立ツ時之ヲ形式的ト言フ、形式的概念ヨリ行政ヲ説明スルニ先立チ吾々ハ簡單ニ三权分立主義ニ付テ論ズルノ必要ヲ感ズ、蓋立法司法行政ニ形式的概念ヲ生ズルハコノ主義ニ緣由スルモノナレバナリ

三权分立主義ハ國家ノ三作用ヲ分チソノ各作用ノ政治的意味ニ応ジテ各別ノ獨立ナル機關ヲ設ケ、コレニヨリテソノ作用ヲ行ハシメ、以テ國民ニ於ケル政治的自由ヲ確保センコトヲ期スルモノナリ、モレテスキユ曰ク、各國家ニハ三権ノ權カアリ、立法權、萬民法ニテスル事項ヲ執行スル權及び市民法ニテスル事項ヲ執行スル權コレナリ、第一ノ權ニヨリテ君主又ハ執政官ハ一時的又ハ永久の法ヲ作り及び作ラレタル法ヲ改正又ハ廢止スル第二ノ權ニヨリテ彼ハ講和又ハ戰爭ヲナシ大使ヲ派遣シ、授受シ治安ヲ保持シ侵入ニ具ス、第三ノ權ニヨリテ彼ハ犯罪ヲ罰シ又ハ個人ノ争ヲ裁判ス、吾々ハコノ最後ノモノヲ裁判權ト呼ビ、他ヲ單ニ國家ノ執行權ト呼バントス、市民ニ於ケル政治的自由トハ各々が自己ノ安全ニ付テ凡スル意見ヨリ生ズル考ヘカラ出テ来ル所ノ精神ノ平穩状態ヲ言フ而



シテムガコノ自由ヲ有センガタメニハ一ツノ市民ガ他ノ市民ヲ恐ル、理由ナキ  
カ故ニ、政治的組織ヲ構成スル必要アリシ。然ルニ若シ、右ノ二枚乃至三枚ヲ  
同ニ機關ノ手中ニ併セ奉ルカ、压制暴虐ノ停止スル所ヲ知ラサルヘシ、何ゾヨ  
ク國民ノ政治的自由ヲ確保スル所以ナランヤ、コ、ニ於テカニ枚ハ各別ノ機關  
ニヨリテ行ハレザルベカラズ、即チ「裁判権ハコレヲ常識的ニ元老院ニ予フベ  
カラズ、然ラズシテ必要ナル期間ダケ存続スベキ裁判所ヲ作ルベク一定ノ時期  
ニ於テ法ノ定メル方法ニヨツテ市民ヨリ選任セラレタ所ノ人ニヨツテ行使セラ  
ルベシ」

他ノ二枚ハ寧ろ常識的ナル執政権又ハ合議体ニ本フルヲ得ズ、蓋シソレヲノ枚カ  
ハ一ツハ國家ノ一般思想ニ他カナラズ、而シテ他ハソノ一般思想ノ執行ニ外ナラ  
ズシテ、何ニ個人ニ對シテ行使セラル、ニ非サルナリ、自由口ニ於テハ凡テノ人  
ハ自由ナルル心ヲ有スト看做サレハ彼自ラニヨツテ統治サレザルベカラザルヲ  
以テ人民全体ガ立法権ヲ有スルコトヲ要ス、然レドモ之ハ大國ニテハ不可能タ  
リ、且ツソノ國デハ多クノ不便ヲ伴フガ故ニ人民ハ凡テ自ラ爲シ得ザルニハソノ  
代表者ニヨツテナサザルヲ得ズ、「故ニ立法権ハ貴族ノ團體及ゴ人民ヲ代表

スベク選出セラレタル團體ニ附与ス、而シテソノ兩者ハ各別ニ集合シ、討論シ、而シ  
テ相異ナル見解ト利益干係トヲ有スベシ、「執行権ハ一々ノ君主ノ手中ニオカ  
サルベカラズ、蓋シ政府ノコノ部分ハ短ト即時的行動ヲ必要トスルガ故ニ多  
數ヨリモ一々ニヨツテヨクヨク管理セラレ、コレニ反シテ、立法権ニ干シテハ屢々  
一々ニヨリヨルモ多數ニヨツテヨクヨク規正セラル」コノ主義一變、モレテス  
キユ、(一六八九—一七五五)ニヨリテ唱導セラル、ヤ、天下心然トシテ之ニ向ヒ、近代文  
明諸口、殆ンド例外ナリ、コノ主義ヲ以テ政治上並ビニ公法上ノ一大原理トナスニ  
至レリ、我國又之ヲ採ル、即チ立法ヲ行フモノトシテ立法機關アリ、帝國議會コ  
レナリ、司法ヲ行フモノトシテ司法機關アリ、司法裁判所コレナリ、行政ヲ行フ  
モノトシテ行政機關アリ、帝國議會及ヒ司法裁判所ヲ除外シタル残余ノ切ノ國家  
ノ機關コレナリ、然ルニコノ各機關ノ實際ニ行フ所ハ又必ズシモ本系ソノ機關  
ヲシテ行ハシメントシタルソノ作用ノミニ依ラザルナリ、立法機關ハ前述實質的  
概念タル立法即チ法ノ制定ノ作用ノミヲ行フモノニ非ズ、尙其ノ他ノ作用ヲモ  
行フコトアリ、而シテ、ソノコレヲ行フハ斯カル作用モ亦本系法ノ制定作用ヲ  
行フタメニ必要ナリトセラル、特種ノ地位ト構成トヲ要スル、コノ機關ニヨツテ



行ハル、コトヲ適當トスルニヨル、司法機關及び行政機關ニツイテモ、亦同様ナリ、カクシテ或機關ガ行フ凡テノ作用ヲ一格シテ一類トナシ、コレニソノ機能本末行フベモノトセラル、作用ノ名ニ冠スルコトヲ得、コノ形式的概念タル作用ナリ、先ヅ(一)形式的概念タル立法トハ帝國議會ノ行フ凡テノ作用ヲ言フ、而シテ(二)形式的概念タル司法トハ司法裁判所ノ行フ、凡テノ作用ヲ言ヒ、(三)形式的概念タル行政トハ上ノ如キ意味ニ於ケル立法及び司法ノ兩作用ヲ除外シタル残余ノ一切ノ國家ノ作用換言スレバ帝國議會ノ行フベキ作用ニモ非ズ、司法裁判所ノ行フモノニモ非ザル凡テノ國家ノ作用ヲ言フ、斯ノ如クナレバ形式的概念タル行政ハ、實質的概念タル行政トソノ範圍全ジカラズ即チ(一)實質的概念タル行政ニシテ、形式的概念タル行政ニ非ザルモノアリ、予算ノ議決、如キ議會ノ議員ノ資格審査、如キハ形式的概念トシテハ立法ニ屬シ、不動産登記、如キ非訴訟事件、如キ衆議員議員ノ選舉人名簿又ハ選舉若シクハ當選効力ニテスル訴訟ノ如キハ形式的概念トシテハ司法ニ屬ス、又(四)形式的概念タル行政ニシテ實質的概念タル行政ニ非ザルモノアリ、命令ノ制定、如キハ實質的概念トシテハ立法ニ屬シ、警察犯即決処分、如キハ實質的概念トシテハ司法ニ屬ス、行政ノ概念

ニ實質的ト形式的トノ二種アリテ上述ノ如シ、然カモ何レモ我制度上行政トスル所ノモノハ實質的概念タル行政ニ非ズシテ、ムシロ、形式的概念タル行政トス。

## 第二章 行政法

行政ノ何タルカハホホ之ヲ明カニシタ、然ラバ行政法トハ何ゾヤ行政法ガ行政ニ干スル法ナル事ハ勿論ナレドモソノコレガ干スル行政範圍ヲ上述ノ行政全部ニ亘ルト言フハ當ラズ蓋シ一國ノ法制中ニ於テ特ニ行政法ナル概念ヲ立ツルハ之ヲ他ノ法ニ對シテ獨立ノ一法系トナシ、從ツテ行政法學ヲ他ノ法學ニ對シテ獨立ノ一科トナサンガタメナリ、然ルニ今若シ行政法ヲ忘ク上述ノ意義ニ於ケル行政ニ干スル法律ナリトセンカ到底コノ目的ニ應ズル事能ハズコ、ニ於テカ行政ナル獨立ノ一法系ヲ立テルタメニソノ基礎タル行政ノ範圍ヲ上述ノ行政ニ付テ更ニ制限サザルベカラズ、斯ノ如クソノ範圍ヲ制限セラレタル範圍ヲ吾人ハ技術的概念タル行政ト言ヒ、コレニ對シテ第一章ニ述べタル所ノ行政ヲ本來的概念の行政ト言ハシムル。



第一 技術的觀念タル行政

(一) 國際上ノ作用ハ國家ガ自己ト對等ナル他ノ國家ニ對シテ行フ所ノモノニシテ、自己ノ中ニアル團體及ビ國民ニ對シテ行フ所ノ國以上ノ作用トハ大イニソノ趣ヲ異ニス。故ニコノ種ノ作用ハ之ヲ一括シテ國際立法ノ下ニコレガ研究ヲナスコト通則ニシテ又適當ナリトス。從ツテ國際上ノ作用ハ技術的觀念タル行政ニ屬セズ。

(二) 凡ソ人類ノ生活ハ之ヲ法ト干係セシメテ意味アル區別トシテ、二種ヲ分ツコトヲ得。一ハ國家ソノ他ノ政治團體ノ所屬者タル地位ニ於テ生活スルモノト然ラザル生活トアリ。例ヘバ國民ガ租税ヲ納メ兵役ニ服シ、警察上ノ制限ヲウケ、官吏トナリ、代議士選舉ヲナスガ如キハ前者ヲシテ、コレヲ政治的生活ト言フ。私人ガ物品ヲ買ヒ、住宅ヲ借り、人ヲ僱フガ如キハ後者ニシテ、之ヲ民事的生活ト言フ。コレヲ國家ソノ他ノ政治團體ト人類トノ干係ニ於ケル生活ヨリ言フ時ハ國家ソノ他ノ政治團體ガソノ所屬者タル地位ニ於ケル人類ニ對シテ行フ作用ト然ラザル作用トアリ、換言スレバ國家ソノ他ノ政治的團體ガ政治的團體トシテ行フ作用ト然ラザル作用トアリ。前者ハ政治團體ガ政治的生活トシテ遂ム作用ニシテ、例

ヘバ國家ガ租税ヲ徵收シ、兵役ヲ課シ、警察上ノ制限ヲナシ、俸給ヲナシ、選舉權ヲ認ムルガ如シ。コレヲソノ政治的作用ト言フ。後者ハ政治的團體ガ民事的生活トシテスル作用ニシテ、例ヘバ國家ガ私人ヨリ、土地ヲ買ヒ、公債ヲ起シ、或ル事業ヲ請負ハセルガ如シ。コレヲソノ民事的作用ト言フ。然ルニ民事的生活ハソノ當事者ガ政治團體タルト私人トニ關係ナク、ソレガ民事的生活ナルノ故ヲ以テ、物ニク民法ソノ他ノ私法ノ適用ヲウルモノトセラル、即チ國家ノ民事的作用ハ私法ノ適用ヲウクルモノアリ、依ツテ之レハ技術的觀念タル行政ニ屬セズ。

(三) 形式的概念タル立法ノ帝國議會ヲ行フ一括的作用ニシテ、形式的概念タル司法ノ司法裁判所ノ行フ一括的作用ナルコトハ既にコレヲ述ベタリ。然ルニソノ議會自体又ハ裁判所ノ行フ作用ニハ必ズ、初モコレトノ關係ニ立チヨリ之等ノ作用ヲ補助スルノ他ノ作用アリ、斯ノ如キ補助作用ハソノ主タル作用ノ事實上密接ノ干係アルノミナラズ、又法上ノ取扱ニ於テモ往々主タル作用ニ干スル法典中ニコレガ規定ヲ見ルコトアリ、例ヘバ議員法ノ規定ニヨリ議長ガ院次ニ於ケル警察作用ヲ行ヒ裁判所構成法刑事法訴訟法等ノ規定ニヨリテ檢察司法警察官ガ檢察作用ヲ行ヒ、判事及ビ檢察官司法行政ヲ行フガ如シ。カクノ如キ補助作



用ハコレヲソノ主タル作用ニ附着セシメテコレト一体ヲナスモノトシテ法の研究ヲナスヲ以テムジロ全当ナリト考察セラルヨリテカ、ル補助作用ハ本来的概念タル行政ナレドモ而モ技術的概念ハ行政ニ屬セズ

(四) 上未述ベタル所ハ專ラ國家ノ行政ニテスルモノトス、而ルニ國家ノ下ニハ公共團體アリ、公共團體ハ自己ニ委任セラレタル國家ノ作用ヲ自己ノモノトシテ行フコトヲソノ存立目的トナスモノナリ、コ、ニ於テカ公共團體ノ作用ナルモノヲ生ジ從ツテソノ行政ナルモノヲ生ズ、而シテ公共團體ノ行政ノ概念ハ又コレヲ國家ノ行政ノ概念ニ準ジテ定ムルコトヲ得ベシト言ヘドモカク、如キハ多く實益アラズ蓋シ我カ國ノ實際ノ制度ニ從スルニ公共團體ハ一方ニ於テ司法ヲ行フコトナク他方ニ於テソノ立法及ビ行政ハ國家ノ場合ニ於ケルガ如ク互ニ獨立スルモノニアラズ却ツテ兩者ヲ一括シテ行政ナリト考察セラ、ルガ故ナリカクノ如クナレバ公共團體民事的作用ハコレヲ除キノ、政治的作用ハソレガ本来的概念タル立法タルト行政タルトヲ向ハズ、凡テ技術的概念タル行政ニ屬スルモノトス

コレニ依ツテ之ヲ見レバ行政法ノ基礎トシテノ行政、即チ技術的概念タル行政ト

ハ國家ノ國政上ノ政治的作用中、帝國議會及ビ司法裁判所ニ依ツテ行ハル、作用及ビコレヲノ作用ニ附着シテナサル、補助作用ヲ除外シテ殘ル一切ノ作用及ビ公共團體ノ一切ノ政治的作用ヲ總稱ス

### 第二、行政法ノ概念及ビソノ性質

#### (一) 行政法ノ概念

行政法ハ上述技術的概念タル行為ニ關スル法ナリ、然ルニ行政ニ關シテ規定スルノ法ハ概リ行政法ニ限ラズ憲法モ亦存ス、然ラバ如何ナル莫ニ於テ行政法ヲ憲法ト區別セラレルノカト言フヲ明カニセザルベカラズ、ソレ憲法ハ國家ノ根源法ナリ、從ツテソノ規定ハ凡テ國家全般ノ見地ニ於テス、憲法ハ國家ソノモノ、組織及ビ作用ノ大綱ヲ定ムルモノナルガ故ニ行政ニ關シテモ何カ規定スル所ナカルベカラズ、而モコノ場合ニ於ケルソノ規定ノ立法及ビ司法ト全然無關係ニ行政ノミヲスルモノニシテ他ノ國家ノ作用タル立法及ビ司法ト全然無關係ニ行政ノミヲ眼中ニオキ身ヲ規定スルガ如キコトナシ、行政法ハ即チ然ラズ、行政法ハ行政ニ關シテ規定スルコトソノコトガソノ全使命ナリ、



行政法ハ立法ニモ非ズ、司法ニモ非ズ、國家ノ一作用タル行政ソノモノニ着眼シテソノ組織及ビ作用ヲ定ムルモノナリ。コレヲ要スルニ行政ニ干スル法ニツイテ憲法ト行政法トノ區別ハ一ニソノコレヲ規定スルノ場地ノ如何ニアルノミ、或ル者ノ言フガ如ク憲法ハ行政ノ組織ヲ定ムルモノニシテ行政法ハソノ作用ヲ行フモノナリト概念スベカラザルナリ。

### (三) 行政法ノ性質

行政法ハ公法ナリ、法ヲ公法私法ノニツニ分ツコトニ付テ先ヅ注意ヲ用スルハコレガ概念ノ法學上ニ於テナサル、區別ナルコトナリ。永久ニカクノ如キ區別ヲ認ムルマ否マハ末知ルベカラズ、蓋シ一部ノ學者ニヨリテハ既ニコレノ區別ハ否定セラレントシツ、アレバナリ。今吾々ハコレノ區別ヲ認ムルノ立脚地ニ立テテ論ヲ進メントス。然ラバ、公法私法ノ區別ヲ何處ニ求ムベキカ、先ヅ法ノ目的ヲ標準トシテ公法ハ公益ヲ私法ハ私益ヲ保護スルモノナリトスベカラズ。

(目的説) 蓋シ法ハ凡テ共同生活ノ利福ノ増進ヲ目的トシ共同社会ノ利福ハ又別行個人ノ利益トナルモノナレバナリ。次ニ法律干係ノ主体ヲ標準トシテ、公法ハ國家ソノ他ノ公法々ト個人トノ關係ヲ定メ私法ハ個人相互ノ干進ヲ定メトス

ヤカラズ

### 立体説

蓋シ既ニ述ベシガ如ク國家ソノ他ノ公法々ト虽モソノ民事的作用ヲ行フ限リニ於テハ私法ノ支配ヲ受クルモノナレバナリ。又法律干係ノ種類ヲ標準トシテ权力干係ヲ規律スルハ公法ニシテ平等關係ヲ規律スルハ私法ナリトスベカラズ、蓋シ所謂权力關係トハ強キ意思体ノ弱キ意思体ニ対スル干係即チ命令、服従干係ヲ言フモノナレバ、一方ニ於テ、親ト子トノ間、社会ト社会トノ間等ニモ亦或範圍ニ於テ、有力干係説アリ。從ツテコレノ説ニヨレバコレヲ規律スルモノハ公法ナリト言ハサルヲ得ズ、他方ニ於テ後述スルガ如ク現今ノ法的思想ヨリスレバ、权力干係ニ非ズニテ而モ公法ノ規律ヲ要クト考ヘラル、生活干係アリ、然ルニコレノ説ニヨレバコレヲ認ムルコトヲ得ザルニ至ルコレコレノ説ニ依カニ帰シ難キ所以ナリ

法ハ共同生活ニ於ケル人類ノ生活ヲ規律ス、而シテ今日ノ法律概念ニヨレバ人類ノ生活ヲ政治的生活ト民事的生活トノ二種ニ分チ、コレニ從ツテ、コレニ從ツテソノ取扱ヲ異ニストセラル、而シテ政治的生活及ビ民事的生活ノ區別ニツイテハ先キニコレヲ述ベタリ、人類ノ政治的生活ヲ規定スル法ヲ公法トナシ、民



事的生活ヲ規律スル法ヲ私法トナス。コ、ニ注意スベキコトハ即チ政治的生活  
ハ人類ガ政治的團體ノ所屬者タル地位ニ於テスル生活ヲ言フモノナレバ、コノ生  
活ニ於ケル人類ノ干係ハ必ズシモ权力干係タルコトヲ要セズ、対等關係ナルモ  
亦可ナリ。例ヘバ、國家ガ軍用ノタメニ國民ノ所存ニカ、ル財物ヲ徵發スルノ關  
係ハ权力關係ナレバ、國家ガソノモノニシテ、損失ヲ保障スルノ干係ハ权力關係ニ  
非ザルガ如シ、故ニ公法ガ人類ノ政治的生活ヲ規律スルト言フヲ解釋シテ公法  
トハ权力干係ノ法ヲ言フトスルハヤ、早計ニスグルナリ。  
又人類ノ生活的生活ハコレヲソノ當事者ヨリ見ル時ハ、独リ政治團體トソノ所屬  
者トシテノ人類トノ間ニ存スルノミナラズ、ニツ以上ノ政治團體相互間又ハ同  
一政治團體ノ所屬者トシテノ人類相互間ニモ亦存ス、コノ後ノ場合アルコトハ往  
々看過セラレルト雖モ、コレヲ認メサルヲ得ズ例ヘバ、土地ヲ收用セラレタル従来  
ノ土地所有者ガ起業者ニ對シテ損失ノ保障ヲ求ムルノ關係ノ如シ、故ニ立法ハ  
一般ニ人類ノ政治的生活ヲ規律スルモノニシテ、單ニ國家ソノ他ノ公法人トソノ  
所屬者トノ間ニ於ケル生活干係ヲ規律スルモノニハ非ザルナリ。

### 第三 行政法ノ淵源

行政法ノ淵源即チ行政法ノ成立スル形式ハコレヲ制定法ト被制定法トノニツニ  
分チテ考察スルヲ便宜トス。

#### 一 制定法

(1) 憲法施行前ノ法ハ憲法施行後ニ見ルガ如キ明確ナル形式トシテ法律命令ナ  
ル名ニ於テ制定セラレタルモノニ非ズ、而モソノ何ラノ名称ヲ用ヒラレタルニ  
拘ラズ、憲法ニ准屬セズ且ツソノ後ノ法令ニヨリテ消滅セシメザル限り依然ソノ  
効力ヲ存続スベキモノナリ、(憲法七六) 故ニコレガ行政ニ關シテ規定スル時ハ  
ソノ限度ニ於テ行政法ノ淵源トナル。

#### (2) 法律命令

法律ハ帝國議會ノ協議ト天皇ノ裁可トニヨリテ制定セラル、法ニシテソノ規定  
スル事項ニ制限ナシ、元來法若國ノ理想トシテハ法ハ凡テ法律タルコトヲ要求ス  
ト雖モ實際トハコレガ完備困難ナルノミナラズ又コレガ貫徹セザルノ便宜ナル  
ニヨリ憲法ハ一定ノ事項ニ限リテハズ法律ニヨルベキコトヲ定ムルニ止メ他ハ  
命令ヲ以テコレガ規定ヲナサシムルコトノ可能ト認メタリ、法律ガ行政ニ干シテ



規定スル時ハソノ限度ニ於テ行政法ノ淵源トナル

### イ 命令

命令ハ帝國議會ノ協賛ヲ受ズ天皇又ハ行政官廳ガ單独ニ制定スル法ナリ。命令ハ憲法、法律又ハ他ノ命令ノ授權ヲ得テコレヲ制定スルコトヲ得ベク、ソノ規定ニ得ル事項ノ内容若クハ範圍モ亦ソノ授權ノ範圍ニ止マル命令ガ行政ニ關シテ規定スル時ハソノ限度ニ於テ行政法ノ淵源トナル。命令ヲ大別シテ天皇ノ命令ト行政官ノ命令トニツニ分ツ、天皇ノ命令ハコレヲ發スル形式ニヨリ、皇室典範、皇室令、軍令、條約命令、勅語勅令ノ五種アリ、行政長官ノ命令ハコレヲ行政命令ト言ヒコレヲ發スル機關ノ相異ルニ依リテ、國務令、省令、警視庁令、北海道庁令、府縣令、樺太庁令、總督府令、朝鮮總督府令、関東庁令、南洋庁令、等種々アリ。

### ロ 自主法

自主法ハ國家内ノ公共團體ニヨツテ制定セラレ、法ナリ、例ヘバ市町村條例ノ如ク、公共團體ノ立法権ハコレヲ自主権トイフ、而シテ公共團體ガ自主権ヲ有スルハ國家ノコレヲ認ムニヨルモノナレバ、自主法ノ規定ニ得ル事項ノ範圍ニモ

亦自主限取アルヲ見ルベシ。自主法ガ行政ニ關シテ、規定スル時ハソノ限度ニ於テ行政法ノ淵源トナル。

### 二 非制定法即チ慣習法

慣習法ハ社会ノ共同生活ニ於ケル人類ノ慣習ニヨリテ成立スル法ナリ。即チ一定ノ社会ニ於テ相当ノ期間同種ノ具体的事件ニツキテ同種ノ決定ガ常ニ繰返サル、時ハソノ決定ハ自ラソノ社会ノ法的意識ヲ明示シタルト認メラル、ニ至ルコトアルベシコレソノ社会ノ慣習法ニ外ナラズ、行儀ノ性質トコレニ付テ慣習法ヲ生ズルコト甚ダ希ナルコトアルベシト虽モ又ソノ存スルモノナキニ非ズ。慣習法ガ行政ニ關シテ規定スル時ハソノ限度ニ於テ行政法ノ淵源トナル。

### 第四 行政法ノ法域

法ハ一定ノ地域ニ限リテソノ上ニ行ハル、モノニシテコノ法ト行ハル、地域ヲ指シテソノ法域ト言フ行政法モ亦法域ヲ有ス、法域カ問題トナルハ中央機關ノ制定スル法ニツイテナリ。蓋シ中央機關ノ制定スル法ハ原則トシテハ國家ノ統治権ノ及ブ全範圍ニ互リテ行ハルヘキモノナルモ而モ時トシテソノ範圍以ノ一部ノ土地ニハ行ハレザル事アレバナリ。即チ吾人ハ現今我國統治権ノ及ブ土地



範圍ヲ憲法、施行當時被領土タリシモノト然ラザルモノトニ分テ、我中央機  
関ノ制定スル行政法ニ付キテ約述セントス

一、憲法施行當時被領土タリシ土地

國家ノ法ハ一般ニ國家統治権及ロ土地ニ於テハ特別ノ定メナキ限リ当然行ハル  
、モノナリ、而シテ憲法施行當時被領土タリシ土地ニ於テハ何ラ特別ノ規定  
ナキカ故ニ一般ニ國家ノ法ハ行ハレ從ツテ行政モ亦行ハル

二、憲法施行當時被領土タラザリシ土地

コレニソノ後被領土トナリシモノト然ラザルモノトアリ

(1) 台湾樺太及朝鮮ノ三ハ後ニ被領土トナリシモノナレバ若シ特別ノ規定ナ  
シトセバ前述ノ理由ニヨリ均シク一般ニ國家ノ法ハコレヲノ領土ニモ行ハルハ  
キモノナリ、然ルニ實際ニ於テ法律ハ原則トシテコレヲ行ハズトスル特別規定  
アルガ故ニ一般ニハ行ハレズ、各國ノ法律ニツキソノ全部又ハ一部ヨコレヲノ  
領土ニ施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ夫夫コレヲ定ムルモノトセリ、(大正、  
法律第三号)台、(明治四〇年法律第二五号)樺、(明治四四年法律第三〇号)朝

勅令ニ付テハ特別ノ規定ナキガ故ニ勅令所定ノ事實が存在スル限リ、ソハコレヲ  
ノ領土ニモ行ハルト言ハサルベカラズ、又中央官ノ命令ノ台湾及朝鮮ニハ直  
接ニハ行ハレズコレニ及シテ樺太ニハ理論上ハ直接ニ行ハル、モ實際上カ、ル  
命令ノ同地ニ行ハル、コトハ少シハ大九、勅令、一三四号)

(2) 関東州ハ租借地ニシテ領土ニ非ズト虽モ一般ニ被統治権ノ及ブ所ノ土地  
タルモノトス、而シテ関東州ニ施行スベキ國家ノ法令ニ關シテハ特別ノ規定ナ  
キガ故ニ法律及ビ勅令ハソノ所定ノ事實が存在スル限リ原則トシテ関東州ニモ  
行ハル中央官ノ命令モ亦全シク行ハルベシト虽モ實際上ノ場合ハ少シ

(3) 南洋群島、南洋群島ハ領土ニモ非ズ、租借地ニモ非ズ、實ニ統治委任地ナ  
リ而モ其委任ノ同モ恰モ被領土ト同一ニ見テコレヲ統治スルコトヲ得ザルモノ  
ナリ、換言スレバ被統治権ハ南洋群島ニモ及ブモノトス、而シテ南洋群島ニ法律  
勅令及ビ中央官ノ命令ニ一般ニ行ハルベキコト、関東州ニ於ケルト同ジ  
コレヲ要スルニ中央機關ノ制度ニカ、ル行政法ハ憲法施行當時被領土タリシ  
土地ニハ一般ニ行ハレト虽モ其ノ他ノ土地ニハ必スシモ然ラズ各別ニ之ヲ研  
究スルヲ要スト言フベシ



### 第三章 行政権ノ限界

第一、行政作用ハコレヲ直接法ト閣聯セシメテ現ルトキハソノ限界左ノ如シ、  
一、行政作用ハ法ノ範圍内ニ於テ行ハルコトヲ要ス。コ、ニ言フ法ハ広ク制定法及非制定法ヲ包括スルモノニシテ又ソノ制定法ハ法律命令等如何ナル形式ヲ以テ發布セラレタカヨ同ハザルモノトス。凡ソ行政権ハゴノ法ノ範圍内ニ於テノミ發動スル事ヲ得換言スレバ行政作用ハ法ニ違反スベカラザルナリ。唯ニ法律又ハ上級ノ命令ニ違反スヘカラザルノミナラズ、行政機關ハ自カラ定メタル命令又ハ下級ノ命令トモ成規ノ手續ヲ以テコレヲ改廢セザル限リコレニ違反スベカラザルナリ。法ニ違反セズト言フコトハ法ノ積極的ニ規定スル所ノミヲ行フト言フコト、異ル。若シ然ラズトセバ行政作用ハ凡テ法ノ執行作用ニスヤザルニ至ルベシ。然ルニ行政権ハ單ニ法ノ執行ノタメニノミ發動スルニ非ズ、規定ナキ範圍ニ於テモ一般ニ發動シ又發動セザルベカラズ、ゴノ場合ニ於テハ直接ソノコトヲ定ムル法ノ規定ニ違反スト言フコトナキハ固ヨリナレドモ、初モ何ラカノ契ニ於テ現在ノ法ニ違反スルコトナキヲ保証セズ。カ、ル場合ニ於テハ又ソノ行政作用が現在ノ法ニ違反セザルコトヲ要スルモノトス。

而シテ政治作用ヲナスニ當リ特定ノ場合ニ於ケル取扱ガ、直接ニ法ノ命ズル所ヲナサズ、若シクハ法ノ禁ズル所ヲナス時ノ明カニ違法ナルハ必輸、法ガ一般ノモノニ對シテ定メタルト異リタル特別ノ取扱ヲ特定ノモノニナス時モ亦法ノ違反アリト言フベシ。コノ後ノ場合ニ於テハ法ガ一般ノモノニ課シタル義務以外ノ特別ノ義務ヲ課スルコトノミガ法ニ違反スルニ非ズ。法ガ一般ノモノニ課シタル義務ヲ特別ニ免除シ、又ハ一般ノモノニ与ヘザル特別ノ權利ヲ与フルコトモ亦法ニ違反スルモノタルナリ。ヨリテ行政作用ヲ以テハカクノ如キ特定ノモノニ對スル特別ノ取扱ヲナスベカラザルモノトス。

二、行政作用ニヨリテ一般國民ノ自由ヲ制限スルニハ法ノ根據アルコトヲ要スル。法ノ根據アルコトヲ要スルトハ法ノ認ムル場合ナルコトヲ要スルト言フ義ナリ。即チ法ノ認ムル場合ノ外ハ行政作用ヲ以テ任意ニ國民ノ權利ニ害シ、又ハコレニ義務ヲ課スル事ヲ得ザルナリ。而シテソノ法ハ原則トシテ法律タルコトヲ要求スル。而モコノ原則ハ事實上コレヲ貫徹スルコト難キガ故ニ憲法九條ハ一定ノ目的ノタメニ國民ノ自由ヲ制限スルニハ命令ヲ以テコレヲ定メ得ベキコトヲ認メタリ。但シ何謂憲法上ノ法律事項ニツイテハ必ず法律ヲ以テコレヲ制限



命令ヲ以テハ定ムベカラザルモノトス

カクノ如キ原則ノ要求セラル、ノハ一般國民ノ自由ノ制限ヲナス場合ニ干ス。詳言スレバコノ原則ハ國家構成員ノ一員タル資格ニ於ケル人類ノ自由ヲ制限スル場合ニ干スルモノシテ、後ニ述ブル所ノ特別ノ权力關係ニアルモノトシテ、ノ自由ノ制限ヲナス場合ニ属スルモノニ非ズ。從ツテ後ノ干係アルモノノ自由ヲナスニハソノ適當ナル限度ヲ越ヘザル限リ法ノ根據アルコトヲ要セザルナリ。

### 第二 行政作用ヲ行フ機關ノ权限

他ノ作用ヲ行フ機關ノ权限ト關係セシメテ見ルトキハ行政作用ノ限界左ノ如シ

一、行政作用ト司法作用  
コノ兩作用ハ互ニ独立ス行政機關及ビ司法機關が同一ノ事項ニツキ或行爲ヲナシ得ル場合ニハ原則トシテ各自独立シテコレヲ行ヒ、一ガ他ヲ拘束スルコトナシ故ニ、(1) 行政機關又ハ司法機關が或ル事項ニツイテアル行爲ヲナスベキ場合ニハ当該機關ハ他ノ機關ノ行爲アルヲ待ツコトヲ要セズ、コレ当該機關ノ行爲ガ或問題ノ決定ヲ前提トシ、該先決問題ノ決定ガソレ自身トシテハ他ノ機關ノ权

限ヲ属スル場合ナリ例ヘバ稅務署長ガ甲所有ノ土地ニ地租ヲ課シタルニ甲ハソノ他ヲ乙ヨリ買ヒトリタリト言フモ所謂低当賣買ナル仮裝賣買ニシテソノ所有權ヲ有セザルコトヲ理由トシテ上級行政官ニ訴願ヲ申シ立テタリトセンユノ場合ニ上級行政官ハ甲ガ司法裁判所ニ假裝賣買ノ推認ヲ請求スルヲ待ツノ要ナリ、又甲ガ之ヲ請求シタル時モ司法裁判所ノ判決ヲ待ツノ要ナリ、直ニソノ訴願ヲ決定スルコトヲ得、又甲官吏ノ職務執行ヲ妨害シタルハ罪ヲ以テ起訴セラレ、ソノ場合が官吏ノ職務執行ニ属スルモノ否モノ問題ヲ生セリトセンソノ問題ハ行政官ハモ亦コレヲ決定シ得ルモ司法裁判所ハ行政官ノ問題トナルヲ待ツノ要ナク、又ソノ問題トナリタル時モ行政官ノ決定ヲ待ツノ要ナク直ニソノ問題ヲ決定スルヲ得。

然レドモ例外トシテ或ル場合ニハ法ノ規定ニヨリテ、当該機關ト必ズ他ノ機關ノ行爲ヲ待ツコトヲ要ストセラレルコトアリ、コレヲ特色作用ノ先行ノ原則トイフ、例ヘバ官吏ノ撤去手續ニ対スル刑事訴訟先行ノ原則ニヨル場合、如シ(四) 行政機關又ハ司法機關が或事項ニ付テ或行爲ヲナスベキ場合ニコレニ付テ他ノ機關モ亦或行爲ヲナシタル時ハ当該機關ハ他ノ機關ノ行爲ニヨル決定ニ從



フコトヲ要セズコレ当該機関が他ノ機関ノ決定ヲ待テタル場合ナリ、コノ当該  
機関が他ノ機関ニ決定ヲ待テタル場合ト言フニニアリ、一ハ当該機関が他ノ機  
関ノ決定ヲ待テタル場合ト言フニニアリ、一ハ当該機関が他ノ機関ノ決定ヲ結  
ツコトヲ要スルニ非ザルモ而モ自ラコレヲ待ツコトヲ必要ナリトシテコレヲ待  
テタル場合ナリ例ヘバ行政裁判所ガソノ審判中ニソノ事項ニツイテ民事裁判所  
ニ訴訟提起セラレタル時必要ト認メテ民事裁判所ノ判決アルマデソノ審判ヲ待  
テタル場合ノ如シ、コノ場合ニ当該機関が他ノ機関ノ決定ニヨリテ当該機関が  
他ノ機関ノ決定ヲ待ツコトヲ要スルガ故ニコレヲ待テタル場合ナリ、コノ場合ト  
要モ、ソレ自身ニ於テ当然ニ当該機関が他ノ機関ノ決定ニ従フコトヲ要スルモ  
ト言フコトヲ得ズ、只特別ノ定メニヨリテコレニ従フコトヲ要セズトセラル、  
コトアルベシ、コレヲ特定作用ノ先決ノ原則ト言フ他ノ機関ノ決定ソノモノト  
シテハ確定効果ヲ有スト言フコトヲ得、然ルニ現行法上カクノ如キ原則ヲ認メ  
タル規定アルナシ、特定作用先決ノ原則ニ似テ非ナルモノナリ、一ノ機関ノ行  
爲ニヨル決定アルコトが法上他ノ機関ノ行爲ノ可能又ハ必要ヲ生ズルコト之ナ  
リ例ヘバ法令ニ違背シタル河川工事ニヨリ損害ヲ受ケタルモノハ訴訟及行政

訴訟ヲナシ、行政機関ニヨリテソノ法令違背ナルコトヲ確定セラレタル後司法裁  
判所ニ対シテ損害賠償請求ノ訴訟ヲ提起セラル、ヲ得トセラル、か如シ、カク  
ノ如キ場合ハ一見当該機関が他ノ機関ノ行爲ヲ待テ又ハソノ決定ニ従フノ観ア  
レドモ實ハ然ラズ、蓋シコレ同一問題ニツイテ西種機関ノ作用アルニ非ズ、シテ  
一ノ機関ノ或事項ニテスル行爲アルコトが他ノ機関が他ノ行爲ヲナスコト法律  
要件ヲナスモノナレバナリ、故ニ行政作用ト司法作用トノ界限ノ問題ニ非ズコ  
レヲ欲シテコノ決定が要件(ハタル)効果ヲ有スト言フ

(イ) 行政機関又ハ司法機関ガアル事項ニツイテ、或行爲ヲナシタル場合ニ他ノ  
機関モ亦ソノ事項ニ関シテ或行爲ヲナス時ハ他ノ機関ノ行爲ハ当該機関ノ行爲  
カ他ノ機関ノ行爲ノ効力ニ *object* マ及ホスコトナシ、之当該機関ノ行爲ガ他  
ノ機関ノ行爲ニヨリテ決定セラレタル事實ノ存在ヲ前提トシテ行ハレタル場合  
ナリ、例ヘバ、先述ノ地租ノ附加ノ例ニ於テ司法裁判所ガソノ賣買ノ假裝賣買  
ニシテ地租ヲ加セラレタル用ガソノ所有権ニ非ザルコトヲ判決シタリトセン、  
コレガタメニソノ前ニ稅務署長ノ行ヒタル地租附加ノ処分が当該効力ヲ失フモ  
ノニ非ズ、コレガ効力ヲ失ハシムルハ行政監督又ハ行政救済ニヨル別個ノ行政



作用アルコトヲ要ス。又司法裁判所が官吏ノ行爲ヲ義務違反ナリトシコレニ基  
イテコレヲ不法行爲ナリトシテソノ損害賠償義務ノ存在スルコトヲ判決シタル  
後徴戒機関ガコレヲ義務違反ニアラストシテ懲戒セザルコトヲ決定シタルトセ  
ン、コレガタメニ司法裁判所ハコノ判決ハ当然効力ヲ失フモノニ非ズ、コレガ効  
カヲ失ハシムルニハ司法裁判所ノ違誤ミヨル別個ノ司法作用アルコトヲ要ス。

## 二、行政作用ト立法作用

行政作用ハ立法作用ニ從屬ス。從ツテ立法作用ヲ以テハ行政作用ヲ左右スルヲ  
得ト虽モ之ニ反シ行政作用ハ只立法作用ノ拘束ヲ受ケルノミ。又一定ノ行政作用  
ハ立法作用ノ授権アルニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ズトセラル、コトナリ。

第三、行政作用ハ之ヲ行政ソノモノ、性質ヨリ見ル時ハソノ限度次ノ如シ  
行政作用ハ公益ニ適スルモノナルコトヲ要ス。行政作用ハ單ニ法ニ違反セザル  
コトヲ以テ足レリトセバ更ニ公益ニ適セザルベカラズ。之レ行政が公益ノタメ  
ニ行ハル、モノナルノ当然ノ結果ニシテ敢テ法ノ規定アルヲ持タザルナリ却ッ  
テ凡石ノ行政法規ハコノ根本原則ヲ基礎トシテ定メラルベキモノトス。而ルニ  
行政作用が公益ニ適スルモノナル時ハ之ヲ適当ト言ヒ、然ラザル時ハ之ヲ不当

ト言フ故ニ右ノ原則ハ又之ヲ行政作用ハ適当ナルモノナルコトヲ要シ、不当ナ  
ルベカラズトイフコトヲ得。之ヲ行政上ノ公益原則ト言フコト、ニ於テ行政機  
関ガ行政作用ヲ行フニハ先ヅ如何ナル行政作用が公益ニ適シ又ハ適セザルカヲ  
知ラザルベカラズ、コノ觀念ヲ得ルニ法ノ羈束ヲウケル場合及自由裁量ヲ以  
テスル場合ノニアリ。

## 一、法ノ羈束

法ノ羈束トハ行政作用ニヨツテ公益ヲ達スルガタメニ如何ナルコトヲナシ又ハ  
ナサザルベキカガ法ニ於テ定メラル、コトヲ言フ。行政機関ガ法ノ羈束ヲ受ケ  
テ行政作用ヲナストキ、ソノ行政作用ヲ羈束作用トイフ。羈束作用ニアリテハ  
行政機関ノ只コレニ從ツテナシ、又ハナサザルコトガソレ自身ニ於テ公益ヲ産ス  
ルモノトセラル。故ニ行政機関ハ自己ノ見テ公益トスル所ノモノヲ標準トシテ  
ナシ又ハナサザルコトヲ横決シ得ルノ余地ヲ有セザルナリ。之ヲ私シテ法ガ行  
政作用ヲ指定スド言フ。例ヘバ法カ内務大臣ハ土地收用ヲナシ得ル事業ノ認定  
ヲナシ得タル時之ヲ公告スベシメシ(土地收法十四條) 警察官ハ自後後師宅以  
ニ入ルコトヲ得ズトシ(行執ニ) 又警察官務安守秩序ヲ保持スルノ必要アル



場合ニハ届外ノ集合ヲ解散スルコトヲ得トスル場合ノ如シ。(治警八エ)

## 二、自由裁量

自由裁量トハ行政機関が自ラ行政作用ニヨツテ公益ヲ達スルカタメニ如何ナル事ヲシ又ハナササルベキカヲ定ムルコトヲ言フ。行政機関が自由裁量ニヨツテ行政作用ヲナス時ソノ行政作用ヲ裁量作用トイフ行政作用ハ公益ニ適スルヲ要スルカ故ニ行政機関トコレヲ行フニ当リテ何か公益ニ適スルカヲ知ラザルベカラズ。而ルニ前述法ノ羈束スル場合ニハ法ツノモノガ何か公益ニ適スルカヲ定ムルカ故ニ行政機関ハ單ニ法ニ定ムルマ、ニ行フニヨツテ公益ヲ達スルコトヲ得ヘク。自ラ何か公益ニ適スルカヲ定ムルノ余地ナシ。コレニ反スルニ法ノ羈束ナキ場合ニハ行政機関ハ自ラ何か公益ニ適スルカヲ定ムベキナリ。之ヲ裁シテ行政機関が自由裁量ヲナスト言フ。而シテ行政機関が自由裁量ヲナシ得シガタメニハンノコト自身ガ法ニヨツテ認メラル、コトヲ要ス。行政作用ノナサン又ハナサレサルコトニ付テ法カ何ラノ規定ヲ有セザル場合ニ尤モヨク。尚次ノ如キ場合ニ於テモ行政機関ニソノ職權アルモノト解スベシ。即チ法ガ地方行政ナハ公益ノタメノ必要アル時河川使用ノ許可ヲ取消又コトヲ得トシ(河川法二

〇條) 農林大臣ハ必要ト認ムル時取引所ノ決議ヲ取消スコトヲ得トシ(取引所法二十九條) 古物商營業ヲナサントスルモノハ行政上ノ免許ヲ受クベシトスルカ如ク(古物商取締法二條) 行政機関ガソノ職分ナクシテ自由裁量ヲナスハ無权裁量タルモノニシテ違法ナリ。又自由裁量ハ恣意ニヨル決定ニヨラズ誠實ノ考慮ニヨル決定ナラザルベカラズ。行政機関が公益ニ反スト信ズルニモ拘ハラズ。而モ公益ニ適スト称シ行フハ裁量ノ適用タルモノニシテ、又違法ナリ。然ラバ自由裁量トモ決シテ法ノ制限ナキニ非ズ無权裁量及ビ裁量適用ナラザルコトヲ要ス

## 三、法ノ羈束ト自由裁量トノ關係

法ノ羈束及ビ自由裁量ノ概念ハ只行政作用ノ法、殊ニ制定法ニ対スル關係ヲ標準トシテ考ヘラレタル对照ナリ。自由裁量ノ向題トスルハ制定法ガ公益ニ適スルモノヲ定メズ行政機関ヲシテ自ラ之ヲ定メシムル場合如何ヲ知ルカタメニ意アルナリ。要スルニ之レ立法作用ノ行政作用ニ対スル拘束ノ向題ガアル程度マテ具体化サレタルモノトス。自由裁量ニツイテハ行政作用ト行政上ノ公益原則ノ干係ハ向題ニ非ズ、然レバ行政機関が裁量作用ヲ行ヒタル場合ニソノ呆シテ



公益ニ適スマ否ハ全ク別個ノ問題ニ屬ス。コノ關係ヨリ自由裁量ヲ理解セン  
トスルハ問題ソノモノ、誤解ナリ、自由裁量ノ問題ハ行政機關ガ行政上ノ公益  
原則ニ違反スルマ否ヤノ問題ニ非ズ、行政機關ガ如何ニシテ公益ノ觀念ヲウル  
マノ問題ナリ、注意ヲ要ス。

#### 第四章 公法關係

##### 第一 公法關係概説

人類ノ生活千係ハ法ニヨツテ規律セラレテ法律關係トナル然ルニ法ニ公法及ビ  
私法ノニツアルガ故ニ法律千係ニモ亦公法關係及ビ私法關係ノニアリ、生活關  
係ガ公法ニヨツテ規律セラレル時ハ私法ノ千係ナリ

今人類ノ政治的生活ガ行政ノ方面ニ於テ行ハル、範圍ニ於テ之ヲ行政的生活  
ト言ヒ行政的生活ハ相互接觸スル方面ヨリ之ヲ見ル時ハ即チ行政的生活ヲ得  
ナリ、畧シテ行政關係トイフ、行政千係ハ法ニヨツテ規律セラレテ行政法千係ナ  
ル法律千係トナル、而シテ行政千係ヲ規律スルノ法ハ行政法タルノ外ナリ、行政  
法ハ既ニ述ベタルカ如ク公法ナルガ故ニ行政法千係ハ公法千係タルナリ、故ニ  
一般ニ公法千係ニ関スル規律ニ從フ

##### 二 公法千係ト私法關係トノ限畧

公法關係ト私法關係トノ限畧ハ理論上明瞭ナルモノトス、但々ノ法律千係ハ公  
法千係ニ非ザレバ私法千係ナリ、私法關係ニ非ザレバ公法千係ナリ、兩者ノ何  
レニ屬スベキカ不足ナル法律關係又ハ公法私法ノ中間ノ法律千係ナルモノアル  
コトナシ、カクノ如キ法律關係ヲ想定スルハ既ニソノ前提ニ於テ誤ル蓋シコレ  
極メテ複雜ニシテ且高動止マサル人類ノ實際生活ノ一部ヲソノマ、取出シテ之  
ヲ全体トシテ觀察シテ何レノ法律關係ニ屬スルマヲ決定セントスルモノナレバ  
ナリ、換言スレバ元素幾多ノ公法千係ナル生活行為及ビ私法關係タル生活關係  
ノ錯綜ニテ存スルコトアルベキ實際生活ノ一部分ヲ全体トシテ公法ノコノ規  
律ヲ受ケシメヌハ私法ノミノ規律ヲ受ケシメントスルノ見地ニ立ツモノナレバ  
ナリ、斯ノ如キ場合ニハ宣シク先ヅソノ流動的實際生活ノ一部ヲ更ニ分析シテ  
政治的生活タルモノト民事的生活タルモノトニ分ケソノ各生活ニ於ケル但何ノ  
生活關係ガ公法私法ノ何レニアリテ規律セラル、カヲ見テ、ソノ公法千係タル  
ト私法千係タルトヲ定ムベキナリ、然ラバソノ但何ノ法律千係ハ必ズ公法千係  
タルカ私法千係タルカノ何レカ一ナリ、決シテソノ何レニ屬スルカニ不定ナ



ル法律干係又ハ両者ノ中間區域ニアル法律干係ト言フガ如キモノ、存在ヲ見ル  
事ナシ。

三、公法干係ト私法干係トノ區別ノ実益。

公法干係及ビ私法干係ノ區別ノ実益ハ主トシテ次ノ點ニ存ス。一ツハ之ニ應用  
セラルベキ法規ヲ定ムルノキツタルコトナリ私法干係ニ適用セラルベキ法規ハ  
原則トシテ民法トスコレ民法ハ普通私法ナレバナリ。コレニ反シテ公法干係タ  
ル生活干係ニ適用セラルベキ法規ハ原則トシテ公法トス。ソノ干係ニ於テ特別  
規定ナル時ハ之ニヨリテ特別規定ナキ時ハ公法ハ法理ニヨルベキモノナリ。コ  
ノ場合ニ当然ニ私法殊ニ民法ノ規定ヲ準用スベキモノニ非ズ。ニハ訴訟事件ニ屬  
スルニ裁管轄ヲ定ムルノ標準タルコトナリ。私法干係ノ性質ヲ有スル訴訟事件  
ヲ民事事件ト言ヒ。原則トシテ司法裁判所ノ管轄ニ屬ス。故ニアル生活關係ガ  
私法關係タル生活關係ナル時コレニツイテ別段ノ定メナキ限り司法裁判所ニソ  
ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得コレニ反シ。公法干係ノ性質ヲ有スル訴訟事件ヲ行  
政ト云ヒ原則トシテ行政裁判所ノ管轄ニ屬ス。コノ原則ハ因ヨリ特別ノ規定  
ニヨツテ變更ヲウケ行政事ニシテ司法裁判所ノ管轄ニ屬セシメラル、コトアル

ベシト雖モカクノ如キ規定ナキ以上ハ当然ニコレヲ司法裁判所ノ管轄ニ屬スト  
ナスベカラザルナリ。

第二 公法干係ノ主体

一、公法能力

法ノ認ムルニヨツテ一般ノ公法干係ノ主体タリウルコトヲ公法能力ト言ヒ。公法  
能力有スルモノヲ公法上ノ人ト言フ。何人ノ公法能力ハ出生ト共ニ發生シ死亡ト  
共ニ消滅スル。私法上ニハ死亡ノ外失踪宣告ノ制度アリテコレニヨツテモノノ  
権利能力ヲ消滅スルモノト定ムト雖モ公法上ニハ斯クノ如キ制度アルコトナシ  
團體ハ一ツニ之ヲ法入ト云ヒ。公法上ト私法上トノ二種アリ。公法上及ビ私法上ナル  
語ハ團體ソレ自身ノ區別ヲ示スモノナレバ公法上ノ人及ビ私法上ノ人ナル語ハ  
ソノ概念ヲ異ニスルモノナリ故ニ公法上タル團體ハ勿論通常ノ場合ニハ私法上  
タル團體モ亦公法上ノ人トシテ認メラル。而シテ團體ノ公法能力ハ團體ノ成立ト  
共ニ發生シソノ消滅ト共ニ消滅ス。私法人カ私法干係ノ主体タリウルモノナル  
コト右ノ如シト雖モ之ヲ論ズルハ私法學ニ屬シテ公法學ニ屬セズ公法上トハ政  
治團體タル法々ヲ言フモノニシテ國家ノ他ノ共同團體ガ之ニ屬ス。公共團體ノ如



何ナルモノナルカニツイテハ後ニ自治團體ノ部ニ於テ詳述スベシ。コ、ニハ只公法及ト公法上ノ人トヲ混同セザルコトヲ注意スルニ止ム

## 二、公法上ノ行為能力

人が公法能力ヲ有スルコトハ唯ソノ公法關係ノ主体タリ得ルモノナルコトヲ示スニ止マル故ニ公法能力ヲ有スルモノト雖モソノ若ガ行為ヲナシテコレニ公法上ノ効果ヲ生ゼシメンガタメニハ更ニソノ者ノ意思ガ法上必要ナリトセラル、所ノ品質ヲ有セザルベカラズ、斯ノ如クムノ行為ニ完全ナル公法上ノ効果ヲ附着セシムルガタメニ法上必要ナリトセラレル意思ノ品質ヲ公法上ノ行為能力ト言ヒカ、ル意思ノ品質ヲ有セザルコトヲ公法上ノ行為無能力トイフ、但々ノ公法上ノ行為能力ヲ付テハ一般的规定アルコトナシ、從ツテ但々ガ如何ナル原因アル時一般ニ行為無能力有トナルカハ之ヲ知ルヲ得ズ、只但々ノ行為ニ就テソノ行為無能力ノ原因ヲ知り得ルノミ、即チ(一)或ハ法規定ニヨルモノアリ、例ヘバ天皇成年ニ達セズハ欠シキニ變ルノ故障アル時攝政ヲオクトシ、民事訴訟ヲナスニハ民法上ノ行為能力ニヨルトスルガ如シ、(皇典一九 民訴四三)

二、或ハ丁ノ性質上知り得ルコトアリ、例ヘバ病氣ノ發作飲食等ノタメニ精神

錯乱ノ狀態ニ於テ行為ヲナス場合ノ如シ、團體ノ公法上ノ行為能力ニ對シテモ亦一般的规定アルナシ、然レドモ團體ノ機關タル者カコレヲ表現スルモノトシテナシタル行為ガ性質上公法上ノ効果ヲ附着セシメルニ適當ナル品質ヲ有セサル時ハソノ團體ノ行為無能力ヲ生ズト言フベキナリ

## 三、公法關係ノ主体ト地位

一般ニ公法關係ノ主体タリ得ルモノガ、實際但々ノ公法關係ニ於テ有スル所ノ地位ハ或ハソノモノガ行政ノ作用ヲ自己ノモノトシテ得ルルヤ、或ハ他心ガ行政ノ作用ヲ受クルコトヲ要スルヤニ從ツテ或ハ行政ノ主体タリ、或ハ行政ノ客體タルモノトス、即チ但々ノ公法關係ハソノ全体ノ地位ヨリ見ル時、次ノ如ク之ヲ種別スルコトヲ得

### (一) 行政ノ主体ト行政ノ客體トノ間ノ公法關係

コレ最モ普通ノ公法關係ナリ、唯コノ場合ニ於テモノノ公法ノ關係ガ必ズシモ權利關係ニ限ラズ、對等關係タルコトアルハ注意スベシ

### (四) 行政ノ主体、相互間ノ公法關係

コレ常ニ對等平等タルモノトス、例ヘバ甲市町村民ガ乙市町村民ニ於テ危急ニ



陥ツタガタメニ乙市町村ノ救助ヲ受ケル時甲市町村ニ於テソノ救助費ヲ補償スベキモノトスルノ法規アリトセシ。カクノ如キ場合ニ甲乙两市町村相互間ノ干係ハ公法干係ナリ。

(ハ) 行政ノ客体相互間ノ公法干係

同一ノ政治團體ニ所屬スル行政ノ客体相互間ニモ亦一定ノ立法干係成立スルコトアリ。而シテ之又常ニ對等關係タルモノトス。例ヘバ國家ガ道路修繕ヲナスニ必要ナル費用ヲ治道口民ヨリ徵集ストシ且ツソノ費用ノ負擔額ヲソノ治道國民相互ノ協議ニヨツテ決定セシムルカ又ハ國家ガ治道口民中ノ特定ノ者ヨリ之ヲ徵集シソノモノヲシテ更ニ他ノ治道國民ニ對シテ求償セシムトスルノ法規アリトセンソノ治道口民相互間ノ干係ハ即チ公法干係ナリ。

第三、公法關係ノ種類

公法關係ハソノ主体ノ地位ニヨル種別ノ外種々ノ見地ヨリ之ヲ種別スルコトヲ得。

一、範圍ニヨル區別

之ニヨレバ個別的公法干係及ビ包括的公法干係ノ二種アリ。前者ハ個々ノ事實ニ

ツイテ當事者間ニ存スル公法干係ニシテ例ヘバ官吏ガ捧給ヲ受ケル干係ノ如シ。後者ハ一定ノ地位ニ基キテ當事者間ニ存スル公法ノ干係ノ總體ニシテ例ヘバ國家ト官吏トノ間ノ干係ノ如シ。

二、性質ニヨル區別

コレニ依レバ权力關係及ビ對等關係ノ二種アリ。前者ハ當事者ノ一方ガ他ノ當事者ニ對シテ权力ヲ行使スル場合ノ公法干係ニシテ例ヘバ國家ガ國民ヨリ軍事徵發ヲナスノ干係ノ如シ。後者ハ當事者相互ガ對等ノ地位ニ立テ、ソノ間ニ成立スル公法干係ニシテ例ヘバ國家ガ軍事徵發ノ後被徵發者ニソノ補償ヲナスノ關係ノ如シ。

三、範圍及ビ性質兩者ノ結合ニヨル區別

コレニ依レバ权力干係ニ個別的权力關係及ビ包括的权力干係アリ。對等干係ニ個別的對等干係及ビ包括的對等干係アリ。包括的权力關係ハ特別ノ法理ニ從フ。包括的权力關係ノ内容ハ幾多ノ個別的权力干係ニシテ权力關係ノ内容ハソノ關係ノ當事者ノ一方ガ权力ヲ以テ他ノ當事者ノ行動ヲ指定スルコトニ外ナラス。故ニ包括的权力干係ニアリテハ必竟當事者ノ一方ガ权力ヲ以テ定量ナク他ノ



当事者ノ地位ニ相違スル行動ヲ指定シ得ルモノナリ

凡ソ人類ノ政治團體ニ対スル地位ハ之ヲ三種ニ區別シテ見ルヲ得。人類が單純ニアル政治團體ニ所属スルモノトシテソノ團體ノ一般の統治權ニ歸スルノ地位ハソノ一ツナリ。コノ地位ニ基イテ更ニソノ政治的團體ト特種ノ關係ニ立チソノ特種ノ方面ニ現ハル、團體ノ権力ニ服スルノ地位ハソノ二ナリ。何レノ地位ニ基ク場合ニ於テモソノ地位ニ基ク當事者間ノ干係ノ一体系ニ包テコレ包括的權利干係タルモノトス。第一ノ地位ニ基ク時ハ之ヲ一般ノ包括的權利干係ニシテ一般權利干係トイフ。第二ノ地位ニ基ク時ハ之ヲ特別ノ包括的權利干係トシテ特別權利干係ト言フ。國家ト國民トノ間ノ干係市町村ト市町村民トノ間ノ關係ハ前者ノ例ニ屬シ國家ト官吏トノ間ノ干係市町村ト官吏トノ間ノ干係ハ後者ノ例ニ屬ス。

或人ガ特別ノ権力干係アリマハソノ場合ノ法ニ徴シテ見スルノ外ナシトシテモ次ノ如キ場合ニハ通常國家ト國民トノ間ニ特別權利關係ヲ生ズト見ルコトヲ得。(一) 國家ニ對シテ特別ナル忠勤義務ヲ負フ時例ハバ官吏ニナリ。兵役ニツクカ如シ。(二) 國家ノ官造物ヲ利用スル時例ハバ感化院ニ入院シ學校ニ入学ス

ルカ如シ。(三) 本末國家ノ事業ニ屬スル事業ヲナス時許ヲ得ル時。例ハバ鐵道營業ノ如シ。(四) 國家ノ作用ヲ補助スル行為ヲナス時。例ハバ弁護士、醫士、藥劑士トナルガ如シ。(五) 國家ノ特別ノ保護ヲ受ケル時例ハバ國家ノ補助ヲ受ケテ移民會社ガソノ事業ヲナスガ如シ。(六) 國家ノ特別ノ監視ノ下ニ立ツ時例ハバ囚徒トシテ監獄ニ入り、假出獄ヲナスガ如シ。

特別權利關係ハソノ發生原因ニヨリ言ハバ國家ノ一方の意思ニヨルモノト國家ト國民トノ合意ニヨルモノトニ種ニ分ケ得ベク。前者ハ更ニ直接法ノ規定ニヨルモノト法ノ根據ニ基ク特別ノ行為ニヨルモノト分ケ得ベシ。ソノ中前者ノ合意及法ノ直接規定ニヨリテ發生スルモノハ實際ト少ナク。法ノ根據ニ基ク特別ノ行為ニヨリテ發生スルモノヲ以テ最多シトスル。コノ通常ノ場合ニモ官吏ノ任命、入學ノ許可、等、如ク國民ノ意思ヲ向フテスルモノアリ。徵兵入獄、感化院ノ強制入院等、如ク國家ノ意思ヲ向ハズシテスルコトアリ。特別權利關係ナルモノ、主要ナル意味ハ實ニ次ノ實ニ存ス。國家ガ自己ト右ノ關係ニアル國民ノ自由ヲ制限スルニハカノ一般國民ノ自由ノ制限ノ場合ト異リ何等法ノ根據アルヲ要セザルコト即チ之ナリ。蓋シ特別權利



カ關係ニアリテハ國民ハ國家ニ對シテ一般國民トシテ一般の服従義務ノ外特  
別ノ包括的服従義務ヲ有スルモノナリ。而シテ國家ガ右國民ノ自由ヲ具體的ノ  
場合ニ制限スルハ決シテ新ナル義務ヲ課スルモノニ非ズシテ既ニ國民ガ  
包括的ノ負擔シタル服従義務ヲ何々ノ場合ニ實現セシムルモノニ外ナラザレバ  
ナリ。故ニ苟シクモコノ關係ニシテ適法ニ成立シタル以上國家カソノ國民ノ自  
由ヲ制限スルハ当然ナシ得ル所持ニコレヲ認ムルノ法アルコトヲ要セザルナリ。  
之レ固ヨリソノ自由ノ制限ガソノ特別權力ヲ發生セシムルコトヲ必要トシ  
タル特別ノ行政ノ目的ヲ達スルニ必要ナル範圍以テ於テナサル、コトヲ前提ト  
ス。若シコノ範圍ヲ越ヘテソノ國民ノ自由ヲ制限スルコトアラシカ、ソノ範圍  
ニ於テハ既ニ特別ノ權力ヲ係ノ域ヲ脱シ一般國民トシテソノモノ、自由ヲ制限  
スルコト、ナリ、從ツテコレガタメニハ別ニ法ノ根據アルヲ要スルニ至ルベキ  
ナリ。

#### 第四 公 权

##### 一、 权利ノ概念

法律ニ係ハ事實上ノ干係ニハ非ズ法ニヨツテ規律セラレタル干係ナリ。換言ス

スレバ权利義務ノ關係ナリ。而シテ权利及ビ義務ハ同一法律ニ係ノ両面ナレバ  
权利ノ何タルカヲ明ニスレバ、義務ハ自ラ明カトナルヲ以テコ、ニハ权利ノミ  
ニツイテ説明セン。  
权利トハ法ニヨツテ人ガ自己ノ生活利益ノタメニ他ノ人ニ對シテノ意思ノ活用  
ヲ主張シ得ルコトヲ言フ。(一) 权利ハ意思ノ活用ソノモノヲ言フニ非ズ意思ノ活  
用ヲナシ得ル法上ノ理由ヲ言フ。(二) 权利ハ法上意思ノ活用ヲナシ得ルコト即  
チ何時ニテモ活用セント欲セバ活用シ得ルヲ以テ足り必ズモ現ニ之ヲ活用セ  
ルコトヲ要件トスルモノニ非ズ。例ヘバ甲ガ或物ノ所有權ヲ有スル時ハ甲ガ現  
ニソノモノヲ使用收益処分セザル限、尚他ノ人ノ侵害ニ對シテ保護セラル  
ガ如シ。(三) 权利ハ意思ノ活用ヲナスコトヲ主張シ得ルモノナリ。意思ノ活用  
ヲナシ得ルモ未ダ之ヲ主張シ得ザルモノナル時ハ之レ單ナル技能タルニ止マリ  
权利ニ非ズ。例ヘバ國民ノ通商ヲ通行シ得ルガ如シ。(四) 权利ハ常ニ對人的ニ  
存在スルモノナリ。权利ノ物体ガ物ヲ支配スルニアル場合ト受モンノ支配ヲ主  
張スルハ物ニ對シテスルニ非ズ、他ノ人ニ對シテスルモノナリ。之レ論ヲ俟タズ  
因 权利ハ自己ノ生活利益ノタメニソノ意思ノ活用ヲナシ得ルモノナリ。凡ソ



人類ノ生存目的ニ適スル有形、無形ノモノハ之ヲ生活貨物ト言ヒ生活貨物ノ人  
類ニ対スル關係ハ之ノ生活利益トイフ。權利ハ生活利益ノタメニ換言スレバ或  
ハソノ利益ヲ享受センガタメニ或ハソノ利益ニ對スル侵害ヲ除クセシガタメニ  
認めラル、モノタルナリ、而シテ權利ノ干スル生活利益ハ自己ノモノタルヲ要  
ス。他人ノ生活利益ノタメニソノ意志ヲ活用シ得ルモ之レ他人ニ試リテ他人ノ  
權利ヲ行使スルニ外ナラズ

### 二、公権ノ概念

權利ハ之ヲ分チテ公権及ビ私権ノニ種トス。公権及ビ私権ノ區別ハソノ權利ヲ認  
ムル法ノ公私ニヨル。公法ニヨツテ認めラル、モノハ公権ニシテ私権ニヨリテ  
認めラル、モノハ私権ナリ。而シテ公法ト人類ノ政治的生活ヲ規律スルモノナレ  
バ政治的生活ニ於テ存立スル權利ハ即チ公権ナリト言フコトヲ得。

公権ハ權利ナリ、故ニ權利ヲ似テ權利ニ非ザル所謂反射權トハ之ヲ區別セザルベ  
カラズ。公法規定ガ公益ノタメニ國家機關ノ一定ノ行為ヲ命スル時コノ行為が一  
定ノ國民ニトリテ利益トナルコトアルモ、而モ該法規ハ何等右國民ノ從來ノ權  
利範圍ヲ擴張セントシタルモノニ非ナルコトアリカ、ル場合ニソノ國民ノ有ス

ル利益ナル地位ヲ法ノ反射ヲ受クト言フ又通常反射權ヲ有スト言フコトアレド  
モ實ハ之レ權利タルモノニ非ズ。蓋シ國民ハソノ利益ヲ自己ノモノトシテ國家  
ニ對シテ要求スルコトヲ主張シ得ルモノニ非ザレバナリ

國家ノ國民ニ對スル或關係ガ單ニ法ノ反射ニ止ルカ又ハ積極的ニ權利ヲ生ズル  
カハソノ干渉ソノモノ、性質ニヨリテ定マルモノニ非ズ。一ツニ國法ガ如何ニ之  
ヲ定ムルカニ依リテ定マル、然レドモ一般ニ言ヒテ次ノ如キ場合ニハ國民ハ公  
權ヲ有スルニ非ズシテ單ニ反射權ヲ有スルニ過ギザルモト解シテ大過ナカルベ  
シ。(一)公益ノタメ國家行動ニ誘發スルコトガ國民ニ認めラレタル場合例ヘバ  
國民ノナス犯罪ヲ告発ノ如シ。(二)國家行動ヲ公開的ニ行フコトヲ定ムル場合  
例ヘバ議會才判所ノ公開ノ如シ。(三)國家ガソノ施設ヲ一般ノ利用ニ供シタル場  
合例ヘバ道路ノ通行、圖書館ニ於ケル圖書閱覽ノ如シ。之ヲ要スルニ法ガ單ニ  
公益ノタメニソノ國家ノアル行動ヲ定メ之ニ付テ國民ノ個人的利益ノ誘致ヲ認  
メザル時ハ凡テ該ノ反射ニ止マルト言フコトヲ得。

### 三、公権ノ區別

公権ノ存立スルタメニハ一般權利ニ於ケルト等シク主體客體及ビ目的ノ三者ヲ



具フルコトヲ要ス。公権ノ主体トハ公権ヲ有スルモノヲ言ヒ、公権ノ客体トハ公  
権ノ對抗ヲ受クルモノヲ言ヒ、公権ノ目的トハ公権ノ主体ガ公権ニヨツテ一定ノ  
要求ヲナスコトヲ言フ。而シテソノ要求ニ關スル實質的利益ヲ公権ノ物体トイ  
フ、故ニ公権モ亦主体客体目的及ビ物体ノ四方面ヨリソノ種別ヲナシ得ベク且  
ソノ種別ハ固ヨリ相文錯スルコトヲ得ルモノトス。

(1) 主体ヲ標準トスル區別

之レニ行政ノ主体ノ公権及ビ行政ノ客体ノ公権ノ二種アリ。

A、行政ノ主体ノ公権

行政ノ主体ガソノ統治権ヲ發動スルニ法ノ規律ヲ受クルコトヲ要スルハ曾テ述  
ベタル所ナリ。政ニ行政ノ主体ガ行政ノ客体ニ対シテアル主張ヲナスニハ法ニ依  
ツテ認めラレタル理由ニヨツテノ統治権ヲ發動スルノ外ナク、即チ權利トシテス  
ルノ外ナシ。即チ行政ノ主体ノ公権ヲ生ズ。

B、行政ノ客体ノ公権

行政ノ客体ガ公権ヲ有スルハ行政ノ客体ガ法ニヨツテ政治的生活ニ於テ意思力  
ヲ主張スルコトヲ認めラレタル結果ナリ、故ニ行政ノ客体ガ公権ヲ有スルヤ否ヤ

ハ全ク公法上ノ地位如何ニヨル。元來旧時ニアリテハ行政ノ客体ハ政治的生活  
ニ於テハ豪モ意思力ヲ主張スルコトヲ認めラレズ、唯行政ノ主体ノ意思力ノ主張  
ヲ受クルノミナリキ之ヲソノ絶対受動的ノ地位ト言フ。コノ場合ニハ行政ノ客  
体ノ公権ナルモノアルコトナシ。然ルニ後ニ至リテハ行政ノ客体ハ政治的生活  
ニ於テモ或範圍ニ於テ意思力ノ主張ヲナシ得ルコトヲ認めラル、ニ至レリ、  
コレヲ相對受動的ノ地位ト言フコノ場合ニハ行政ノ客体ガ意思力ノ主張ヲナス  
コトヲ認めラル、ノ範圍ニ於テ行政ノ客体ノ公権ナルモノヲ生ズ。

(2) 客体ヲ標準トスル區別

之レニ相對的及ビ絶対的ノ區別アリ。前者ハ特定ノ人ニ對抗シ得ル公権ニシテ  
後者ハ不特定ノ人ニ對抗シ得ル公権ナリ。公権ノ多クハ相對的ナルモノナリト  
ス殊ニ行政ノ客体ノ公権ハ皆相對的ナリ。之レニ反シテ行政ノ主体ノ公権ニハ  
往々ニシテ絶対的ナルモノアリ。例ヘバ國家ガ特定ノ内閣營業物ニツイテ有ス  
ル營業物警察権ノ如シ。

(3) 目的ヲ標準トスル區別

之レニ積極的公権及ビ消極的公権ノニアリ。公権ノ目的トハ前述セシガ如ク行政



ノ主体カ公権ニヨツテ一定ノ要求ヲナスコト即チ行政ノ客体ヲシテ一定ノ行爲ヲナサシムルコトナリ、公権ノ客体ハソノ要求セラレタル行爲ヲナスコトヲ要ス、公権ノ客体カソノ行爲ヲナスコトヲ給付ト言フ、而シテソノ行爲カ作爲ヲナスニアル時ハ之ヲ積極的給付トイヒ、不作爲ヲナスコトニアル時ハ之ヲ消極的給付トイフ、積極的給付ヲソノ目的トスル公権ハ積極的公権ニシテ消極的給付ヲソノ目的トスル公権ハ消極的公権ナリ、コノ區別ハ行政ノ主体及ビ行政ノ客体ノ両者ハ公権ニ付テ存スルモノトス、例へバ國家ガ國民ヨリ租税ヲ徵集シ國民ニ兵役ヲ命ズルノ権利ハ積極的公権ニシテ國家ガ一定ノ場合ニ國民ヲ拘留シテ、移轉セザラシメ一定ノ道路ヲ通行スルヲ禁止スルノ権利ハ消極的權利ナリ、又國民ガ國家ノ裁判ヲ要求スルノ権利ハ積極的公権ニシテ國民ガ法律ニヨルニ非レバ居住及ビ移轉ノ自由ヲ制限セラレザル權利ハ消極的公権ナリ、  
二、物体ヲ標準トスル區別  
之レニ支配権及ビ形成権ノニアリ、前者ハ何物カヲ支配スルコトヲソノ物体トスル公権ニシテ、後者ハ生活關係ニ何等カノ影響ヲ与フルコトヲソノ物体トスル公権ナリ

### ④ 支配権タル公権

何ヲ支配スルカニヨリテ更ニ之ヲ區別スルコト左ノ如シ

一、人ヲ支配スル公権、人ヲ支配スルコトハ権利者ガ権利ニヨツテ及ニ存スル所ノ損益ヲ享受スルコトヲ言フ、然ルニ支配セララル、人ハ又権利者自身ナルコトアルベク、他人ナルコトアルベシ

#### (甲) 自己ヲ支配スル公権

自己ヲ支配スルトハ権利者ガ権利ニヨツテ自己ニ存スル所ノ利益ヲ享受スルコトヲ言フ、自己ヲ支配スル公権ニ行政ノ客体ノ有スルモノトシテハ所謂自由権アリ、自由権トバ法律ニ依ルニ非ザレバ他人ガ自然ニ有スル所ノ行爲ノ自由ヲ國家ニヨリテ制限セラレザルノ権利ナリ、行政ノ主体ノ有スルコトノ種ノ公権トシテハ例へバ國家ノ機密保護ノ権ノ如キアリ

#### (乙) 他人ヲ支配スル公権

他人ヲ支配ストハ権利者ガ権利ニヨツテ他人ニ存スル所ノ利益ヲ享受スルコトヲ言フ、換言スレバ他人ノ意思活用ガアル範圍ニ於テ権利者ノ支配ニ屬スルコトナリ、行政ノ主体ノ公権ハ大部分コト他人ヲ支配スル公権ニ屬ス、行政ノ客体



ノ権利トシテ、ハカノ裁判行爲行政行爲ヲ要求スルノ権利官吏ノ俸給、議員ノ歳費、公法關係ニ於ケル損害賠償請求權ナド皆之ニ屬ス

二、人以外ノモノヲ支配スル公権

人以外ノモノト言フニ物及ビ物以外ノモノアリ

(甲) 物ヲ支配スル公権

物ヲ支配スルトハ権利者ガ権利ニヨツテ直接ニ物ニ支配ヲ及ボスコトヲ言フ物ヲ支配スル公権ニ屬スルモノハ少ナシ、行政ノ客体ノ有スルモノトシテハ土地、牧用ヲナシ得ル事業起業者ガ事業準備ノタメ他人ノ土地ニ立入ル権利ノ如キアリ、(行、糸、用、法九) 行政ノ主体ノ有スルモノトシテハ警察作用トシテ私人所持ノ煤炭物ヲ領置シタル時ソノ領置品ヲ支配スル如キ権利アリ(行、法一)

(乙) 物以外ノモノヲ公権

物以外ノモノヲ支配ストハ権利者ガ権利ニ依ツテ物以外ノモノニシテ人ニ非ザルモノニ直接ノ支配ヲ及ボスコトヲ云フ、ソノ支配ヲ受クルモノニ或ハ権利アリ或ハ貨物アリ、租税滞納者破産ノ場合ニ國家ハ破産者ノ第三者ニ對シテ有スル債權ニ於テ先取特權ヲ有スルハ權利ヲ支配スル公権ニシテ國家ガ公益ノ必要

上私及ノ特許發明ノ方法ヲ實施スルハ無形貨物ヲ支配スル公権ナリ

(6) 形式権タル公権

形式権タル公権

形式権タル公権トハ権利者ガ権利ニヨツテ公法上ノ地位ニ一定ノ影響ヲ及ボスモノ換言スレバ公法關係ノ發生變更又ハ消滅ヲ来タサシムルモノヲ言フ行政ノ客体ノ権利トシテハ他人ガ國家機關ヲ構成スルノ権利例ハバ議員トナリ陪審員トナル権利ナリ又國家機關ノ作成ニ參与スルノ権利例ハバ選舉權等ソノ宣ナルモノニシテ行政ノ主体ノ権利トシテハ認可行政処分取消權等アリ

四、公権ノ移轉及ビ放棄

(1) 公権ノ移轉

權利ノ移轉トハ權利ガ從來ノ權利ノ主体ヨリ裔レテ他ノ權利ノ主体ニ帰屬スル事ヲ言フ、私権ノ移轉ハ原則トシテ認めラル、ニ及シテ公権ノ移轉ハ原則トシテ認めラレズ、公法上ノ係アリテハ特定ノ當事者間ニソノ法律關係ヲ設定スルコトヲ以テ、公益ニ適スルモノ換言スレバ公権ハ專屬的性質ヲ有スルノ權利タルナリ、ソノ權利ノ主体ニ變更ヲ生ズル時ハ当然權利ソノモノ、同一性ヲ失フ



モノトセラル。故ニ原則トシテ公権ノ移轉ハ認めラレザルナリ。但シ例外トシテ  
テ何々ノ場合ニ法ノ規定ニヨリテソノ移轉ハ認めラル、事ナシトセズ。カ、ル  
公権ハ主トシテ財産的性質ヲ有スル権利ナルベシト云モ之ニ限ルノ要ナシ。先ツ  
法上当然ノ移轉ト考ヘラル、モノアリ、之ヲ相續ト而ラザルモノトス。相續ハ例  
ヘバ官吏死亡ノ時官吏ガ俸給権ヲ行使シテ請求スルヲ得ベクカクシテ金錢ニ對  
スル給付請求権ガ相續セラレ（高等官俸給令ニ七、判任官一四）思給権者死亡ノ  
時ソノ生存中ノ思給ニシテ給与セラレザリシモノニ對スル給付請求権ガ相續セ  
ラル、ガ如シ（思四、二、一〇）公義務ノ相續ハ例ヘバ國稅監督稅手數料延滞金  
滞納処分費ヲ收ムル義務ガ相續セラル、ガ如シ（國稅徵集法四條）相續以外ノ  
法上当然移轉ハ極メテ稀ナリ。例ヘバ土地牧用ニ於テ起業者ニツイテ生ジタル  
権利義務ガ事業ト共ソノ承継人ニ移轉スルガ如シ（土收三）次ニコノ任意  
ノ移轉ト考ヘラル、モノアリ、之ヲ讓渡トス。コノ場合ニハ特ニ行政官ノ許  
可ヲ条件トスルアリ、例ヘバ、賣炭ノ營業免許ガソノ相續人又ハ讓受人又ハ  
讓受人ガ業濟士ヲ用フルモノ又ハ、医師タルモノナル場合ニ於テ相續又ハ讓渡  
セラレ（賣炭法七六條）河川法ニ基イテ生ジタル許可ニヨリテ生ジタル權利義務

務ガ行政ノ許可ヲ受ケテ讓渡セララル、ガ如シ（河川法二一）

四 公権ノ放棄

権利ノ放棄トハ權利者單獨ノ意思ヲ以テ權利ヲ消滅セシムル行為ヲ言フ。私権  
ノ放棄ハ原則トシテ認めラル公権ノ放棄ニ就テハ如何、公権ト公益トノ干係ヲ  
見テ之ヲ決スベシト公権ガ主トシテソノ權利者ノ個人的利益ノタメニ認めラ  
レタルモノナル時ハ之ヲ放棄スルコトヲ得、例ヘバ公物ノ独占使用権ノ如シ。  
二、公権ガソノ權利者ノ個人的利益ノタメニ認めラル、ト同時ニ公益上必要ナ  
リトシテ認めラル、時ハ原則トシテ之ヲ放棄スルコトヲ得ズ。但シ例外トシテハ  
何々ノ場合ニ法ノ規定ニヨリテソノ放棄ガ認めラル、コトアリ。行政ノ客体ニ  
對ニ付テ言ハゞ例ヘバ何々が議員選舉ニ當選シタル時之ヲ承諾セザルハ議員ト  
ナルノ權利ノ放棄ニシテ（衆議七四）議長副議長又ハ議員ノ歳費ヲ辭スルハ歳  
費ヲ受クルノ權利ノ放棄ナリ（議員法）行政ノ主体ノ公権ニ付テ言ハゞ例ヘバ  
大赦特赦ハ國家ノ刑罰権ノ放棄ナリ（憲一六）被害地ノ地租ヲ土地所有者ノ要  
求ニヨリテ免除スルハ地租徵集権ノ放棄ナリ、  
出納官吏ノ年償責任ニ基ク債務ヲ免除スルハ賠償請求権ノ放棄ナリ、コ、ニ注



憲スベキハ権利ノ放棄ハ権利ノ不行使ト異ナルコト之レナリ。公権ハ原則トシテ之ヲ放棄スルコトヲ得ズト雖モ初モ必ズシモ之ヲ行使スルコトヲ要セズ、公権ヲ行使ストハ公権ノ効果タル如クノ技能ヲ如クノ場合ニ行使スルコトヲ言フ例ヘバ選舉権者ガアル特定ノ選舉ニ際シテ投票ヲナサザルハ選舉権ノ不行使ニシテ、之レガ放棄ニ非ズ、訴訟ヲ提起シ得ルモノガアル、特定ノ事件ニ付テ之ヲ提起セズ又一見提起シタル訴訟ヲ取下ゲザルハ才執行爲請求権ノ不行使ニシテ之レガ放棄ニ非ザルナリ。

### 五、公法事實

公法關係ガ發生變更又ハ消滅スルコトヲ公法上ノ効果ト言ヒ、公法上ノ効果ヲ發生スルガタメニ法上存在スルコトヲ要ストセラル、事實ヲ無法事實ト言フコトアル特定ノ公法上ノ効果ノ發生スルタメニ存在スルヲ要スル公法事實ハ或ハ單一ナルコトアリ、例ヘバ<sup>市制ニ依リ</sup>帝國臣民タル年齒二十五以上ノ男子ニシテ二年以來市任民タルモノハ市公民タルガ如シ。(市制九)

公法事實ハ之レヲソノ公法上ノ効果トノ關係ニ於テ區別スル時ハ公法要件タルモノト公法條件タルモノトニツニ分タル、公法要件ハ公法上ノ効果が直接ニソレニ附着セシメラル、公法事實即チ公法上ノ効果ノ物体タル公法事實ニシテ公法條件ハカクノ如クソノ結果ノ物体タル事實ニ非ズ而モソノ効果發生ノ條件トシテ存在スルヲ要スル公法事實ナリ例ヘバ外國人ノ歸化ノ公法要件ハ内務大臣ノ許可ニシテ外國人ノ同意ハソノ公法條件タルガ如シ

公法事實ハ又之レヲ事實ソノモノ、性質ヨリ區別シテ行爲及ヒ事件ノ二トナスコトヲ得

一、行爲、行爲トハ人類ノ精神作用ノ表現タルモノトシテノ外部的態度ニシテ公法事實タルモノヲ言フ、故ニ人類ノ精神作用ト雖モソレガ全然ソノ人ノ内部的狀態トシテ存スルニ止マリ豪モ外部ニ表ハル、事ナキモノハ行爲ニ非ズ又人類ノ外部的態度ト雖モ法ガ之ヲソノ人ノ精神作用ノ表現タルモノトシテ見ルコトナク單ニ外界ノ現象トシテ之レニ公法上ノ効果ヲ附着スルニスギザル場合ニ於テハソノ外部的態度ハ行爲ニ非ズ、後述ノ事件タルノミ、公法事實タル行爲ハ常ニ公法下係ニ於テ行ハル、モノニシテ一ニ公法行爲トイフ、公法行爲ヲナシ



ウルモノニ行政ノ主体及ビ行政ノ客体ハ先ニ述べタル如ク公法ノ係ノ主体タリ  
得ルモノナレバナリ。公法行爲ニ付イテハ後ニ本論外部行政法ノ部ニ於テ詳論ス  
ベキヲ以テコ、ニハ一切ノ説明ヲ省ケ

## 二、事件

事件トハ前進行爲以外ノ公法事実タルモノヲ言フ。故ニ事件ハ自然的事実ニノミ  
ニ非ズ人ノ外部の態度タルモノモ亦存ス。只ソノ外部の態度ハ精神(作用)表現タ  
ルモノトシテ考ヘラレズ。單ニ外界ノ現象トシテノミ之レニ公法上ノ効果ガ附着  
セシメラルナリ。例ヘバ道路ノ築造港灣ノ修築河川ノ工事等ノ如シ、  
事件ニハ一般ニムノ生死一定ノ年輪ニ違ヒタルコト身体又ハ精神ノ発達若シク  
ハ障害ノ程度物ノ所有ノ有無、時ノ至邇等アリ。而モ我國法上公法事実タル事件  
トシテ一般的ニ定メラレタルモノナシ。時ノ經過ガ如キハ一般ニ法律事実トシ  
テ重要ナルモノナレドモ之ヲ公法事実トスル一般的规定アルナシ。故ニ力ノ時  
効ノ制度ノ如キモ只特別規定アル時之レニ從フベキノミ。例ヘバ犯罪人ニ對ス  
ル公訴權又ハ刑罰執行權ニ對スル時候ガ之ニ對スル事ヲ又ハ自己ニ宣言セラレ  
タル利ノ種類ニヨリテ夫夫一定ノ年數ノ至邇ト共ニ完成シ(刑訴ニ八一、刑三三三)

金銀給付ヲ目的トスル對國民的權利及ビ對國家的權利ノ其ニ他ノ別段ノ規定ナ  
キ限り五ヶ年間之ヲ行ハザルニ因リテ消滅シ(民法三三三)恩給ヲ受クルノ權利  
ハ之レヲ給スベキ事由ノ生ジタル日ヨリ七年間之ヲ請求セザル時ハ時効ニヨリ  
テ消滅ストスルガ如シ(恩五)又カノ除訴期間ノ制度モ何々ノ場合ニ認メラル、  
コトアルノミ。例ヘバ民事訴訟ニ於テ控訴期間上告期間ヲ各前審ノ判決ノ送達  
アリタル時ヨリ一ヶ年トシ(民訴四〇、四三七)行政訴訟ニ於テソノ提起キ間ヲ  
行政ニ於テ知分書又ハ採決書ヲ交付シ、又ハ告知シタル日ヨリ六〇日以内ト  
シ(行政手続法三三)訴願ニ於テソノ提起キ間ヲ行政知分ヲ受ケタル後六日以内ト  
シソノ裁決ニ對スル上級行政官廣ヘノ訴願ノ提起期間ノソノ裁決ヲウケタル後三  
十日以内トシタルガ如シ(訴法八)



## 第二節 行政官府組織詳説

行政官府令ニヨル行政機關ニ行政官府及び其ノ他ノモノアリ。從ツテ行政組織モ行政官府組織ト行政官府組織以外ノ行政組織トアリ。モトヨリ前者ヲ以テ主要ナルモノトス。本節ニ於テハ行政官府組織ニツイテ説ク

### 第一 行政官府ノ概念

行政官府ノ概念ヲ知ルニハ先ヅ一般ニ官府ナルモノ、概念ヲ知ルヲ要ス。官府トハ天皇ノ委任ニヨリテ一定ノ範圍ヲ限ツテ國家ノ事務ヲ行フ國家機關ヲ言フ。(イ) 官府ハ國家ノ機關ナリ。公共團體ノ機關ハ官府タルコトナシ。(ウ) 官府ハ一定ノ範圍ヲ限リテ國家ノ事務ヲ行フ機關ナリ。國家全般ノ事務ヲ行フ官府ナルモノアルコトナシ。而シテソノ事務ノ範圍ハ或ハ事務ノ種類ニヨリテ定マリ或ハ事務ヲ行フ土地ノ區域ニヨリテ定マル。(ニ) 官府ハ天皇ノ委任ニヨリテ機關タルモノナリ。國家ノ機關ニシテ天皇ノ委任ヲ待ツコトナク一定ノ事實ノ發生ト共ニ例ハバ選舉ニヨツテ當然生ズル所ノモノハ官府ニアラズ。五法ヲ行フカタメニハ官府ヲ置カザルガ政ニ官府ニハ尺司法官府及び行政官府ノニ種アルノミ。前者ハ司法事務ヲ行ヒ、後者ハ行政事務ヲ行フ所ノ官府ナリ。

今先述官府ノ概念ヲ以テ行政官府ヲ定議センカ。行政官府トハ天皇ノ委任ニヨリテ一定ノ範圍ヲ限リテ國家ノ行政事務ヲ行フ國家機關ヲ云フ

### 第二 行政官府ノ種別

行政官府ハコレヲ種々ノ標準ニヨリテコレヲ區別スルト虽モ法上特ニ意味アルモノハ次ノ如シ

#### 一 行政官ナト補助官ナ

コレ行政官府が行政事務ヲ行フニアタリ國家意志ヲ表現スル方法ニヨリテ命令ノ區別トス。(イ) 行政官ナハ拘束力ヲ以テ國家ノ意思ヲ外部ニ表示シ得ル行政官府ナリ。若シ拘束力ヲ以テ國家意志ヲ以テ外部ニ表示スコトヲ國家意思ノ宣言トイフ事カ出来ルナラバ行政官ナハ國家意思ヲ宣言シ得ル行政官府ナリ。官ナク國家意思ヲ宣言スルトキハソノ官ナ以外ノモノハ必ズコレヲ國家ノ意思ナリト認めザルヲ得ズ。蓋シ官ナノ國家意思ノ表示ノ拘束力ヲ有スルモノナレバナリ。(ウ) 補助官府ハ國家ノ意思ヲ宣言スルヲ得ズ。官ナノコレヲ宣言スルノ準備ヲナシ又ハ宣言シタル意思ヲ執行スル行政官府ナル補助官府ト虽モソノ权限内ニ於テハ尚國家ノ意思ヲ宣言シ從ツテ國家ヲ表現スルヲ得。然カモ官ナノ如ク拘束



カヲ以テ國家意思ヲ外部ニ表スモノニ非ズ、例ヘバ各省大臣府縣知事ハ行政官  
ナニシテ各省次官、地方書記官ハ補助官トナル。

## 二、独任制ノ行政官行ト合議制ノ行政官行

コレ行政官行ヲ構成スル個人ノ數ニヨリテ分テタル區別トス。(一)独任制ノ官行  
ハ個人一人ヲ以テ構成スル行政官行ナリ。コノ場合ニハソノ一人ノ意思ガ直ニ  
國家ニ帰屬スルモノナルヲ以テ意思供給ノ方法ニツイテ特ニコレヲ定ムルノ要  
ナシ。(二)合議制ノ官行ハ個人數人ヲ以テ構成スル行政官行ナリ。コノ場合ニ  
ハソノ數人ノ意思ガ一体トシテ國家ニ帰屬スルモノナレバ意志供給ノ方法ニツ  
キ特ニコレヲ定ムルヲ要ス。通常ハ多數決ノ方法ニヨル。例ヘバ各省大臣以内閣  
理大臣ハ独立制ノ官行ニシテ、内閣、行政裁判所會計院ハ合議制ノ官行ナリ

## 第三、行政官行ノ权限

### 一、权限ノ概念及ソノ効果

行政官行ノ权限トハ行政官行ガ行ヒ得ル國家作用ノ一定ノ範圍ヲ云フニコレ  
ヲ管轄ト言フ。行政官行ハ权限ノ範圍ニ於テ國家作用トシテ種々ノ行爲ヲ行ヒ  
得ルコトヲソノ職權トイフ。職權ハ权限ト時ニ混同セラルトモ之ヲ區別スル

ヲ要ス。例ヘバ地方警察事務ハ府縣知事ノ权限ニ屬スルモノニシテ府縣知事ハ  
コノ事務ヲ行フニツキ或ハ命令ヲ發シ或ハ行政処分ヲナス職權ヲ有スルガ如キ  
行政官行ガ職權ノ範圍ニ於テソノ作用ヲ行フ時权限ヲ行フトイフ。  
行政官行ハ皆一定ノ权限ヲ有ス。权限ノ法上ノ効果左ノ如シ。(一)國家行爲ハ行政  
官行ガソノ权限ニ於テ行ヒタル行爲ニヨツテ完全ニ成立ス。故ニ後ニ至ツテ  
ソノ官行ノ权限ニ變更ヲ生ジ、又ハソノ官行ノ廢止セラル、コトアルモ一旦成  
立シタル國家ノ行爲ハソノ自身トシテハ依然トシテ存続ス。(二)國家行爲ハ行政  
官行ガソノ权限ニ於テ行ヒタル行爲ニヨツテノミ表現セラル。故ニ(一)行政ノ  
客體ニ對スル關係ニ於テハ行政官行ノ权限ハソレガ國家ヲ表現スルノ範圍ヲ定  
ムルモノトス。即チソノ範圍ニ於テノミ行政ノ客體ハ行政官行ヲ國家トシテコ  
レニ對シテ行動スルコトヲ要シ又行政官行ハ行政ノ客體ニ對シ自ラ國家トシテ  
行動スルコトヲ得。(三)他ノ行政官行ニ對スル關係ニ於テハ行政官行ノ权限ハ  
ソレガ獨立ノ範圍ヲ定ムルモノトス。即チ行政官行ノ权限ハ官行相互ニ於テ犯  
スベカラザル事務ノ界限ヲ劃シ以テ各官行ノ個性ヲ定ム。

## 二、权限ノ分配



行政官ノ权限ヲ行フベキモノハ原則トシテ、行政官ノ自身ナリ、ソノ行政官ノ以外ノ物ニヨツテ行ハル、ハ例外ノ場合ナレバ、法ノ之ヲ認ムルコトヲ要ス、而シテ行政官ノ权限ガソノ官ノ以外ノ物ニヨツテ行ハル、ノ場合ヲ總稱シテ行政官ノ权限ノ代行ト言ヒ、以下之ノ説明ヲ試ミントス

行政官ノ权限ノ代行ハ、或ハソノ行政官ヲ補助スル行政官府ニヨツテナサレ、或ハ他ノ行政官ニヨツテナサル

一、 权限ノ代行ガソノ官ノ補助官府ニヨツテナサル、場合

コノ場合ハ更ニソノ官ヲ構成スル官吏が存在スル場合ト、臆クサル場合トニ分テ考ヘラル、(1)ソノ官ヲ構成スル官吏が存在スル場合ト、コノ場合ヲ行政官ノ权限ノ代理ト言フ、之ニ(1)法上当然生ズルモノト、(2)特別ノ行爲ニヨリテ生ズルモノトアリ、特別ノ行爲ニヨリテ生ズルモノニ更ニ(1)ソノ行政官ノ一方行爲ニヨルモノト、(2)第三機關ノ一方行爲ニヨルモノトアリ、(1)ヲ法定代理トイヒ、府縣知事事故アルトキ監督ノ順序ニ從ヒ書記官ソノ職務ヲ代理スルノ例ナリ、(2)地方官制(百ノ一項)(三)ノ行爲任意代理トイフ、知事が府縣官吏ヲシテソノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得ルハソノ例ナリ、(百ノ三項)

(ニ)口ノ指定代理トイヒ、知事及書記官共ニ事故アル時ハ内務大臣ニ於テ他ノ高等官ノ一人ヲシテ知事ノ職務ヲ代理セシムルハソノ例ナリ、(百ノ三) 权限ノ代理ニアリテハソノ行政官ノ权限ヲ代理スルモノ、行爲ハソノ代理ノ範圍ニ於テハソノ行政官ノ自身ノ权限トシテ行ハレタルモノ、即チソノ官ノ自身ノ行爲タルモノナリ、其ノ行爲ヲナシタル者ヨリ見レバ代理行爲ニツイテハ代理官理ノ責任ニ任ズ、但シ任意代理及指定代理ノ場合ニソノ代理ヲ生ゼシメタル者該行政官ノ又ハ第三機關タル官吏ハ代理ノ処置ヲナシタルコトニツイテ責任ヲ有ス

口ノ官ヲ構成スル官吏ノ臆クサル場合コノ場合ヲ行政官ノ权限ノ管理ト言フ、我國法ノ权限ノ管理ノ概念ヲ認メサルニアラズ、而モコレヲ特ニ示シテ認ムルノ規定ヲ発見スル事ハ頗ル困難ナリ、先ヅ(1)國法ハ特ニソノ行政官ノ構成スル官吏ノ臆クサル場合ナルコトヲ示シ、尚代理ノ文字ヲ用クルコトアル例ハ、陸軍部隊ノ長官欠員ノ時ハ代理者ソノ職務ヲ処理ス、(陸代規 二)トアルカ、如シカク、如キハ明カニ权限ノ管理ヲ認ムルコトヲ示ス

(2)國法ハソノ管理ヲ止ズル理由ヲ特ニソノ行政官ヲ構成スル官吏ノ臆クサル限



定セズシテ、而カモ官吏<sup>註</sup>ヲ用フルコトアリ。タトヘバ各省大臣故障アル時ハ他ノ大臣命ヲ受ケ其ノ事務ヲ管理スヘシ（以留官制九ノ後段）トアルカ如シ。コレ又权限ノ管理ヲモ認ムルノ規定イイフヲ得ベシ。③前送权限ノ代理ヲ規定スルノ通常ノ形式ヲトリ而モコ、ニイフ权限ノ管理ヲ認ムト解スベキ場合アリ蓋シ國法モ所謂权限ノ代理ヲ生ゼシムベキ事由タル事項スハ故障ハンノ行政官ノノ構成スル官吏ノ或々ヲモ認ムト解シ得ベク從ッテソノ事由ニヨリテ生ズル所謂代理トハ實ハ此如ニ言フ管理ソノモノニ外ナラザレバナリ。尚又④权限ノ管理ハ只ニ成文ニ依ッテ認メラルノミナラズ慣習法ニ依ッテモ認メラル、カノ某官<sup>職</sup>心得、某官<sup>職</sup>事務取扱ヲ命ズトスル如キハ之ナリ。权限ノ管理ニツキテハソノ性質上任意管理ナルモノナク又法定管理及指定管理アルノミ。权限ノ管理ニアリテハ管理スルモノノ行為ハンノ管理ノ範圍ニ在ラソノ行政官ノ自身ノ权限トシテ行ハルモノナリ。ソノ行為ニシキテハンノ者自ラ責任ヲ有ス。ニ、权限ノ代行ガソノ行政官ノ以外ノ行政官ノニヨソテナサル、場合ヲ权限ノ代位トイフ。

权限ノ代位ハ一ノ官ノノ权限ヲ他ノ官ノノ行フモノニシテ、他ノ一ノ官ノノ权限ヲソノ官ノノ補助官ノノ行フトハ大イニ異ル。而シテ一般ニ行政官ノノハ权限ナクシテ行政作用ヲ行フコト能ハザルガ故ニコノ代位ノ場合ハンノ範圍ニ在テ权限ノ移轉ヲ生ズ。即チ代位官ノノ作用ヲ行フハ自己ノ权限ヲ行フモノニシテ被代位官ノノ权限ヲ行フモノニ非ズ。カクノ如クナレバ权限ノ代位ハンノ實权限ノ分配ノ一方法タルモノニシテ官制ガ一般的ニ定メタル权限ノ範圍ヲ特定ノ場合ニ變更スルモノトス。

权限ノ代位ハ理論上コレヲ法定代位、指定代位及任意代位ノ三ニ分テ考フヲ得ベシト虽モ本法ハ只任意代位ヲ認メ他ノ二者ヲ認メズ。任意代位ハ又之ヲ权限ノ委任トイフ。府縣知事カソノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ支テ長、警察署長ニ委任シ得ルコトハンノ例ナリ（地方官官制 十一條）权限ノ代位ノ期間ニ在テハ別段ノ定メアル限制アルナリ。故ニ關係兩官ノ一方又ハ双方ヲ構成スル官吏ニ在テ變更アルモノ一旦代位ヲ生ジタルモノニ影響ヲ及ボスモノニハ非ズ。

权限ノ代位ニアリテハ既ニ一言シタルカ如ク代位官ノノ被代位官ノノ一定ノ权限ヲ自己自身ノ权限トシテ之ニ屬スル作用ヲ行フコトヲ得。ソノ範圍ニ在テ



ハ被代位官ナハソノ权限ヲ有スルコトナリソノ作用ヲ行ヒ得ザルニ到ル 政  
ニソノ行為ニシイテハ本ヨリ代位官ナヲ構成スル官吏コレガ構成ニ任ズ 但被  
代位官ナヲ構成スル官吏ハソノナシタル所置ニツキテハ責任ヲ有ス

### 才五 現行行政官府組織ノ基礎

行政組織ヲ論ズルニハ單ニ個々ノ行政官府ノ地位、構成乃至权限ヲ明カニス  
ルヲ以テハ足ラズ 行政機關ガ全体トシテ如何ニ配置セラル、カヲ見ルヲ要ス  
而シテソノ基礎ハ次ノ如シ

行政官府ハ各々一定ノ範圍ニ限リテソノ行政作用ヲ行フモノナレドモ然モン  
ノ行フ行政作用ハ互ニ相関聯スルモノナレバコレヲ官府相互間ニ於テハソノ聯  
路ヲ保ツ方法ナカルベカラズ 我ガ現行法ハ土地又ハ事務ノ範圍ヲ標準トシテ  
行政作用ノ範圍ヲ定メ、コレニ幾多ノ補助官府ヲ附屬セシメルヲ原則トナシ只  
場合ニヨリテハ行政官ナヲ置カズ多數ノ補助官府ヲ置キ、コレヲ官府ノ共同活  
動ニアツテソノ範圍ノ行政作用ヲ實現セシム 故ニソノ一定ノ行政作用ヲ行フ  
モノタル一ノ行政官府及ヒソノ補助官府ヲ一體トシ又ハ多數ノ補助官府ノミヲ  
一體トシテ考案スルヲ要ス、コレヲ行政組織ノ單位トシ名付ケテ行政官署ト云

フ 例ハバ各省大臣及ソノ補助官府全体ヲ各省ト云ヒ 府縣知事及ソノ補助官  
府ノ全体ヲ府縣ト云ヒ何レモ行政官署ノ如シ 行政官署ノ配置ヲ見テ始メテ行  
政組織ノ秩序ヲ知ルヲ得 又行政ノ實際ノ取扱ニ於テハソノ官署ノ名ヲ以テソ  
ノ官署ニ屬スル官ナノ行為ヲ云フコトアリ 例ハバ内務大臣ノ処分ガ内務省ノ  
名ヲ以テ行ハレ京都市知事ノ処分ガ京都市ノ名ヲ以テ行ハル、コトアルガ如キ  
モノナリ

行政官署ニモ中央官署ト地方官署ノ二種アルヲ知ルベシ 而シテ中央官署ヲ  
全体トシテ考案シソノ配置ヲ定メルハ中央行政組織ニシテ地方官署ヲ全体トシ  
テ考案シソノ配置ヲ定メルハ地方行政組織ナリ 今先ジコノ兩種組織ノ區別ヲ  
認め次イテソノ各組織ニツイテソノ單位タル行政官署ヲ指稱セントス

### 第三節 中央行政組織

中央行政組織トシテ配置セラレタル行政官署トシテアケベキハ、各省大臣ヲ  
中心トスル各署、内閣總理大臣ヲ中心官ナトスル内閣府、及内閣ヲ中心官ナト  
スル内閣府ノ三ナリ、而カモ之ニハ主トシテ中心タル各官ナニツキヤ、詳シク  
説明シ他ハ只ソレニ從ヒテ附説スルニ止マル



才一、各省大臣

各省大臣ハ最高ノ中央官ナニシテ中央行政組織ノ本系ニ属スルモノナリ

一、各省大臣ハ行政官ナリ。口務大臣トハ異ル、國務大臣ハ天皇ヲ輔弼スルヲ專ラ任トナス憲法上ノ機軸ニシテ(五五)行政機軸ニハ非ズ。而モ往往コノ兩者ヲ混同セラル、ノハ等シク大臣ノ名ヲ有シ且各省大臣ハ同時ニ当然國務大臣ヲ構成ストセラル、ガタメニ(内閣官制第一条)然レドモ國務大臣ヲ構成スベキハ必ズシモ各省大臣ニ限ラズ各省大臣ノ外特賜ニヨリ國務大臣トシテ内閣ニ列セシメラルコトノ存シ得ル所ハ國法ノ明カニ認ムル所ナリ(内閣官制十条)

二、各省大臣ハ中央官署ナリ。コレ説明ヲ要セズ

三、各省大臣ハ最高ノ官ナリ。各省大臣ハ天皇ニ直屬スル官ナニシテ、ソノ上ニ上級ノ官ナアルナシ

四、各省大臣ハ中央行政組織ニ在テソノ本系ニ属ス。蓋シ中央官制ハ行政事務ノ種類ヲ大別シテ之ヲ各省大臣ニ分掌セシムルヲ以テ主義トナシ。只ソノ何レノ大臣ニ属セシムルモ適當ナラズト考ヘル特種ノ事務ノミヲ内閣總理大臣及ビ内閣ニ分属セシムルガ故ナリ

各省大臣ハ独任制ノ官ナニシテソノ機軸ニハ親任官トス

各省大臣ハ特別官ナト云ヒ各省大臣ノ权限ニ関スル权限ラソノ主任事務トスソレヲ行ハフガタメニ各省大臣ハ主務大臣ト呼バル。外務、内務、大蔵、陸軍、海軍、司法、文部、農林、商工、逓信、鉄道、拓務ノ十二ノ各省大臣アリ。各省大臣ノ間ノ事務ノ分配ハ各省官制ニ於テ大体之ヲ定ム就テ見レバ、各省大臣ハ主任事務ニツイテハ自ラソノ責ニ任ズ。主任ノ明瞭ナラザル事務ニシテ西省ニ交渉スルモノアルトキハ閣議ニ提出シテソノ主任ヲ定ム(各省官制通則二条)又或事務ニシテニ省以上交渉ヲ見ルトキハ或ハ主務大臣ハ關係各省大臣ト協議スルヲ要シ。或ハオモカ主務大臣以外ニ關係各省大臣ノ許可ヲ得ルヲ要ス(明治四十一年勅令ニ二六条。二省以上交渉ノ事項ニ関スル件。一、二、三条)

各省大臣ノ職權トシテハ一般的ニ認メラル、モ、次ノ如シ

一、省令ヲ発スルコト

各省大臣ト主任ノ事務ニツキソノ職權若シクハ特別ノ委任ニヨリ省令ヲ発ス(各省官制通則四條)省令ニ百円以内ノ料料又ハ参ケ月以内ノ懲役、禁錮、若



シクハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ得（明治四十三年法律八十四号 命令ノ條項ノ違反ニ因スル罰則ノ件、同年勅令二百八号 閣令、省令、ナ令、府縣令及ビ警察ニ關スル罰則ノ件）

二 行政行為ヲナスコト

各省大臣ハ主任ノ事務ニツキテ行政必分其ノ他ノ行政行為ヲナスコトヲ得コレハ官制之ヲ規定スルナキモ当然ノ事ニ屬ス 但實際各大臣ハコノ職權ヲ行使スルハ比較的稀ニシテソノ行爲ノ利害關係ハ特ニ重大ナルカ、特ニ統一ヲ要スル場合ニ限ル

三、下級官ナタル官吏ニ対シ職務上管理ヲナスコト、各省大臣ハ主任ノ事務ニツキ警視總監 北海道長官 府縣知事ヲ監督シ、コレニ指令又ハ訓令ヲナスコトヲ得若シコレラ下級官ナノ命令又ハ処分ニシテ正義ニタカヒ公益ヲ害シ又ハ权限ヲ犯スモノアリト認ムル時ハソノ命令又ハ処分ヲ停止セシメ又ハ取消スコトヲ得（各省官制通則五、六条）

四、所部ノ官吏ニ対シ身分上ノ監督ヲ行フコト 各省大臣ハ所部ノ官吏ヲ監督シ奏任官ノ進退ハ之ヲ上奏シ判任官以下ハ專行ス 又各省大臣ハ所部ノ官吏ノ

叙位叙數ヲ上奏ス 石何レノ場合ヲ問ハズ内閣總理大臣ヲ至テナサル（官通七、八条） 各省大臣政障アル時ハ他ノ大臣臨時攝任シ又ハ命令ヲ受ケテソノ事務ヲ管理ス（官通、十条）

各省大臣ノ補助官府トシテ一般的ニ各省官制通則十条以下ニヨリテ定メラレタルモノニ政務次官、次官、参与官、局長、秘書官、書記官、及屬、全局的ニ各省大臣ヲ補助スル政務次官、次官及ビ参与官ヲ除ク外ノ官府ハ凡テ各省ノ大臣官房又ハ局ニ分屬シ、部局的ニ各省大臣ヲ補助スルモノトス

### オニ、内閣總理大臣

内閣總理大臣ハ最高ノ中央官ナニシテ中央行政組織ノ傍系ニ屬ス 内閣總理大臣ハ各大臣ノ首班トシテ國務ヲ奏宣シ旨ヲ受ケテ行政各部ノ統一ヲ保持シ且ツ緊要ト認メタル場合ニハ行政各部ノ処分又ハ命令ヲ中止セシメ勅裁ヲ待ツコトヲ得ル（内閣官制一条ニ条）ト雖モコレソノ國務大臣タル本末ノ地位ニ於テ天皇ヲ補助スル方法ニシテ行政官ナトシテノ監督作用ニハ非ルナリ 行政官ナトシテノ内閣總理大臣ハ決シテ各省大臣ノ上級官ナタルモノニ非ズ 反ツテソノ他管事務ノ如キ各省大臣ニ分屬セシメラレザル特殊事務ニ限ラレ從ツテ中央



行政組織ニ於テハ僅カニシテ、傍系ニ屬スルニ過ズ

内閣總理大臣ハ、他任制ノ官ナシテ、職團體ハ親任官トス

内閣總理大臣ノ他任事務ハ、(一) 詔書、勅書、法律命令等ノ公布、(二) 大日本帝國憲法詔書、勅書、法律命令等ノ原本ノ保存、(三) 公文書類ノ査閱、起草及ビ接受発達、(四) 官史ノ進退請務、(五) 各省高等官ノ進退、(六) 官制発布、(七) 公文書類ノ編纂及保存、(八) 内閣必管圖書ノ類別、購買保存、出納及目錄編製、(九) 内閣所要圖書ノ出版、(十) 内閣ノ會計、(十一) 恩給ヲ贈ルノ権利ノ決定、(十二) 恩給ニ關スル答申ノ裁決、(十三) 恩給ノ支給及ビ負担、(十四) 行政各部統計ノ統一、(十五) 國際統計事務、(十六) 人口ノ統計勞働統計其他國勢ノ基本ニ關スル統計ニシテ行政各部ニ專屬セザルモノ、(十七) 統計ニ關スル圖書ノ刊行及内閣統計書ノ交換、(十八) 統計職員ノ養成並ニ各官ノ統計主任者ノ召集及ビ會議、(十九) 官報、法令全書、職員録其他ノ刊行物ノ編輯及ビ発賣、(二十) 官報其他ノ印刷、印紙、郵便切手、諸ノ証券類及ビ諸印刷物製造、(二十一) 抄紙等ニ關スル事項トス(内閣所屬部局及ビ職員官制)

内閣總理大臣ハ各省大臣ト同様ノ職權ヲ有シ、命令ヲ閣令、省令ト云フ

夫ト又他部官吏ニシテ判任官以下ノ進退ハ大臣自ラロズシテ書記官長コレヲ選任スルノ責ニ在ラザルガアル(内閣官制四條)

内閣總理大臣改障アル時ハ他ノ大臣臨時命ヲ受ケンノ事務ヲ代理又ハ管理ス(官制八條九條)

内閣總理大臣ノ補助官府ニ書記官長、恩給局長、統計局長、印刷局長、書記官、内閣總理大臣秘書官、恩給局書記官、統計局書記官、印刷局書記官、印刷局技師、統計局統計官補、局技師アリ、書記官長ハ全局補助ヲナス官府ニシテ局長以下ハ部局補助ヲナス官府トシ後者ハ内閣官府又ハ局ニ分屬スルモノナリ

### 第三章 内閣

内閣ハ最高ノ中央官ナシテ中央行政組織ノ傍系ニ屬ス、コノ傍系ニ屬スル者ニ在テ内閣ハ内閣總理大臣ノ地位ト同シ、ウストモ内ニテハ後者ヲ以テ主トナシ前者ヲ以テ従トナス、蓋シ各省大臣ニ分屬セシメラレザル特種ノ事務ハコレヲ一次ニ内閣總理大臣ノ直轄トシテコレニモ屬セシメラレザルモノヲ第二次ノ内閣ノ他任トスル故ニナリ







官府ノアルモ、ガ同時ニ内閣ノ補助官府タルノミト解スベシ

#### 第四節 地方行政組織

地方行政組織トシテ配置セラレ、官署ノ中心タル地方官ハ一定ノ土地ノ区域ヲ限リテ、ノ区域ニ在テノミ行政事務ヲ行フモノナリ。コノ土地ノ区域ヲ行政区域ト云フ。次ニ地方官ハ之ヲノ事務ノ管轄ヨリ見ルトキ一般官ト特別官トニ區別シ得ルコトハ曾テ述べタル所、如シトモ茲ニハ前者ニツイテ説明スルニ止ム。又地方行政組織ハナルベク全國ニ渡リテ劃一的ナルコトヲ以テ方針トナスモノデアルガ諸種ノ事情上必ずシモ之ニ從フコト能ハズ。現ニ北海道、樺太、台湾、朝鮮、南東洲及南洲郡島各別ノ制度ヲ設ケリ。是ヲ以テ先ヅコレラノ土地ヲ除キタル残余ノ範圍ヲ劃一的地方ト称シテ、コノ行政組織ヲ觀察シ次イデコレラノ土地ノソレニ及バントス。

#### 第一 劃一的地方ニ在ケル行政組織

劃一的地方ニアリテハ上下ニ級ノ行政組織アリ

#### 一、上級行政組織

上級行政組織ニ在ケル官署ハ府縣知事ヲ中心トスル府縣トス。但シ東京ニア

リテハ府ノ外ニ警視廳ヲ中心官トスル警視庁アリ

#### (1) 府縣知事

府縣知事ハ府縣ナル行政区劃ニ在ケル上級官ナリ。コレヲ府縣知事カカノ府縣制ノ定ムル所ニ在ヒテ当然自治團體トシテノ府縣ノ機關タル地位ト混同スベカラズ。

府縣知事ハ一般ニ内務大臣ノ指揮監督ヲ受ケ各省ノ主務ニツイテハ各省大臣ノ指揮監督ヲ受ケ、(地方官制五系) 然レドモ地方官トシテハ上級ノモノナル故ニ他ノ地方官ヲ指揮スルモ指揮セラレ、コトナシ。

府縣知事ハ兼任制ノ官トニシテ、ノ機關ハ勤仕官トス。

府縣知事ハ一般官ナレバ、ノ行フ所ノ行政事務ハ法制ガ符ニシテ、ノ管轄ヨリ除キタルモノ(例ハ、鉄道、郵便、電信、電話、鉱山、徴稅等ニ関スル事項)ノ外制限ナシ。ソノ主要ナルモノヲ地方官官制ニツイテ見ルニ、議員選舉、府縣行政、市町村ノ他ノ公共團體ノ行政監督、土木、土地收用、水陸運輸、水面埋立、農工商、森林水産、小作爭議調定、度量衡、名勝天然記念物、警察衛生、工場法施行、鉱業及砂鉱業以外ノ事業ニ在ケル工業労働者最低年齒法施



施行、労働争議調定法等ニ関スル事項アリ（一ニ条一十六条）

府縣知事ノ職權トシテ一般的ニ認めラレタルモノ次ノ如シ

(一)、府縣令ヲ発スルコト、府縣知事ハ部内ノ行政事務ニツキンノ職權又ハ特別ノ委任ニヨリ管内一般又ハソノ一部ニ府縣令ヲ発スルコトヲ得（六条）府縣令ニハ五十日以内ノ罰金科料又ハ拘留ノ罰則ヲスルヲ得

(二)、行政行為ヲナスコト

(三)、下級官ナタル官吏ニ対シテ職務上ノ監督ヲナスコト、府縣知事ハ支庁長又ハ警察署長ヲ指揮監督シ又行政事務ニツキンノ部内ノ市町村長ヲ監督スコレヲノモノノ処分ニシテ正義ニ違ヒ、公益ヲ害シ又ハ権限ヲ害スルモノアリト認めム時ハソノ処分ヲ取消シ又ハ停止スルコトヲ得（八条一九条）

(四)、処部ノ官吏ノ進退ヲ司ルコト、府縣知事ハ処部ノ官吏ヲ統轄シ、奏任官ノ進退ハ内務大臣ニ具申シ、判任官以下ノ進退ハ專斷ス（八条、十二条）

(五)、出兵又ハ警察応接ヲ求ムルコト、東京府縣知事ヲ除キ府縣知事ハ非常急変ノ場合ニ臨ミ兵カラ要シ又ハ警護ノタメニ兵備ヲ用ヒルトキハ師團長ニ依頼シテ出兵ヲ請求スルヲ得（七条）、コノ請求アル時ハ師團長ハ必ず之ニ応ジテ出

1928/外

兵スルヲ要ス、蓋シ出兵ノ必要ノ有無ヲ認定スルハ知事ノ権限ニ屬スル行政事務ナレバナリ、但シ出兵後ソノ軍隊ヲ指揮スルハ本ヨリ師團長独リ之ヲ行フモノニシテ知事ノ容喙ヲ許サザルモノナリ、又府縣知事ハ災害警防又ハ取締上必要アル場合ニモ応接ノタメ他ノ府縣知事ニ協議シテ、警察官吏ノ派遣ヲ求ムルヲ得、コノ場合派遣セラレタル警察官吏ハソノ地ノ警察官吏トシテ知事ノ命ノマ、ニ職務ニ従事スルモノトス（明治四十三年勅令四二七項）

府縣知事ノ権限ノ代行ニツイテハ皆前述セリ（一〇条、一一条）

府縣知事ノ補助官府ニ書記官、地方事務官、地方警視、地方小作官、地方技師、視学、属、警部、小作官補、技手、通譯、警部補、アリ皆知事官房又ハ部ニ分属シテ部局補助ヲナスモノトス

(四) 警視總監

警視總監ハ東京市ナル行政区劃ノ上級ノ地方官ナリニシテソノ職ニ在テハ全ク東京府知事トソノ地位ヲ同クス、只後者ガ一般官ナナルニ対シ警視總監ハ特別官ナナルニ差異ガアル

警視總監ハ独任制ノ官ナニシテソノ職内任ハ勅任官ナリ



ソノ所管事務ハ一般府縣ノ警察部ノ事務ニ相当シ只、内衛生事務ハ東京府知事ト共ニ分掌スルモノトス（明治三九年内務省令オ一號）

警視總監ハソノ処管事務ヲ行フニツキ、府縣知事ト同称ノ職權ヲ有ス。但シソノ命令ハコレヲ令ト云ヒ又出兵請求ハ師團長ト東京警備司令官トニ対シ選擇的ニコレヲナスヲ得。警視總監ノ權限代行ニツイテモ府縣知事ノ場合ト同様ナリ。但シ法定代理ヲナスモノハ警察部長タル書記官ニ限シレ代理官府ハ單ニ警察署長タリ

警視總監ノ補助官府ニハ書記官、事務官、警視、消防司令、技師、警部、屬、消防士、消防機關士、技手、通譯、警部補アリ。官部局補助ヲナスモノニシテ總監官房又ハ部ニ分屬ス

二、下級行政組織  
下級行政組織ニ於ケル官署ニ、  
（一）一般行政ヲ行フモノトシテ支庁長ヲ中心官トスル府縣支庁アリ。警察行政ヲ行フモノトシテ警察署長ヲ中心官トスル警察署アリ  
（二）支庁長

支庁長ハ府縣支庁ナル行政区域ニ於ケル一般行政事務ヲ行フ官ナリ

府縣支庁ハ島地其ノ他交通不便ナル地ニ例外的ニ置カレルニ止マリ一般的ニ行フモノニ非ズ。コレヲ置カザル府縣ニアリテハ一般行政ヲ行フタメニ府縣ノ下ニ下級ノ行政官ヲ配置スルナリ従ツテ一般行政ノ下級組織ナルモノナシ。只府縣支庁ノ配置セラル、府縣ニ於テノミ上下ニ級ノ行政組織ヲ有スルナリ。支庁長ハ府縣知事ノ指揮監督ヲ受ケ従ツテソノ下級官トス。兼任制タリ。地方事務官ヲ以テコレニ充ツ。支庁長ハ法律命令ヲ施行シ部内ノ行政事務ヲ掌理ス。ソノ処管事務全般ニ渡ツテ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ行政事務ニツイテハ部内ノ町村長ヲ監督ス。支庁長事故アルトキソノ功勤ノ上席屬ガソノ職務ヲ代理ス。又支庁長ハソノ功勤ノ官史ヲシテソノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルヲ得。府縣知事必要ト認ムルトキハ支庁出張所ヲ置クヲ得（地方官官制四三條―四八條）

（四）警察署長

警察署長ハ警察署ナル行政区域ニ於テ警察事務ヲ行フ官ナリ。警察行政ニ於テハ上述一般行政ニ於ケルト異リ各府縣ノ管内ニ松一的ニ警察權ヲ配置サレ



324  
499

府縣以上級ノ行政ヲナスコトニ対シ下級ノ行政組織ヲナスモノトス 警察局長  
ハ警視ナスハ府縣知事ノ指示監督ヲ受ケテキル政任ツテ下級官ナタリ 独任制  
ニシテ地方警視警部又ハ警部補ヲ以テ之ニ充ツ 警察署長ハ部内ノ警察衛生  
及ヒ召集ニ関スル事務ヲ掌理ス ソノ他管事務一般ニ渡リテ部下ノ官史ヲ指  
揮監督シ徵発及召集ニ関スル事務ニツイテハ部内ノ町村町ヲ指揮監督ス（地方  
官制三十九条―四十一条）（警視官制ニ七条、二八条）

第二 北海道ニ於ケル行政組織  
北海道ニアリテハ上下二級ノ行政組織アリ

昭和四年十月十五日印刷  
昭和四年十一月一日発行  
定價金七拾錢也

編輯兼發行人 松平方 田畑勇弘  
京都市左京区吉田中阿達町十四番地

印刷人 吉井徳子  
京都市上京区下切通寺町東入ル

印刷所 吉井昭文堂

發行所 京都市左京区中阿達町十四番地 松平方  
法律研究会同人  
代表者 田畑勇弘







